

管内報道機関との定例懇談会（6月）懇談項目

	項 目	担 当 部	ポ イ ン ト
1	第3期 県北ものづくり改善塾の開講について	経営企画部	県北地域の企業に勤務する従業員の相互交流及び現場改善力の向上を促進するため、6/19から「第3期 県北ものづくり改善塾」を開講します。
2	2014 フレッシュヤーズ・カフェ in 久慈琥珀の開催について	経営企画部	この春、久慈地域の高校を卒業し、地域内の事業所に就職した新規学卒者の早期離職防止や職場定着率向上を図るため、6/20に「2014 フレッシュヤーズ・カフェ in 久慈琥珀」を開催します。
3	平成26年度「久慈地区クリーンいわて行動の日」の実施について	保健福祉環境部	観光などで来県する方々をおもてなしするためのきれいな街づくりに貢献することを目的として、6/11に合同庁舎周辺市街地及び久慈川河川敷の清掃ボランティア活動を行います。
4	中学生を対象とした医師の出前講座及び医療現場体験会の実施について	保健福祉環境部	中学生を対象に、医師・看護師等の職業の重要性について理解を深めてもらい、将来の久慈地域の医療を担う人材の育成に資することを目的として、医師による出前講座及び医療現場体験会を実施します。
5	平成26年度実施予定の農畜産物の高付加価値化推進に係る事業等について	農政部	管内の農畜産物の高付加価値化を推進するため、今年度実施する予定の6次産業化等の推進、産直活動の活性化、地域特産物の販売強化などの取組についてお知らせします。
6	食の匠による高校生への郷土料理伝承会の開催について	農業改良普及室	久慈東高等学校と連携して、調理師免許取得を目指す生徒を対象に、6/6に第1回目の「食の匠による高校生への郷土料理伝承会」を授業の一環として開催します。
7	主要農作物の生育状況について (平成26年6月1日現在)	農業改良普及室	水稻の作業は平年よりやや遅れてスタートしましたが、平年並に作業を終えています。また、ほうれんそうの作業は2週間程度遅れています。
8	第34回久慈地区乾しいたけ品評会の開催について	林務部	久慈地域の乾しいたけのブランドの確立、生産者の生産技術の向上を目指すとともに、県全体の乾しいたけ生産の早期復興を図るため、6/10に「乾しいたけ品評会」を開催します。
9	平成26年度岩手県漁業取締事務所久慈臨時事務所の開設について	水産部	県北地域におけるあわびの密漁取締り等の強化を図るため、今年度も岩手県漁業取締事務所久慈臨時事務所を開設することとし、6/10に開所式を開催します。
10	二級河川久慈川及び夏井川築堤護岸改良工事の着工に係る安全祈願祭の開催について	土木部	県が二級河川久慈川及び夏井川において進める津波対策（堤防嵩上）工事の着工に先立ち、6/10に安全祈願祭を開催します。
11	八木地区海岸防潮堤築造工事の着工に係る安全祈願祭の開催について	土木部	県が八木地区海岸において進める津波対策（防潮堤新設）工事の着工に先立ち、6/13に安全祈願祭を開催します。
12	今年も滝ダムに遊覧船が就航しています～「海の見えるダム」におでんせ！～	土木部	「海の見えるダム」として知られている滝ダムにおいて、今年度も遊覧船が就航しています。

【その他配付資料】

- ・ 月間行事予定表（平成26年6月～7月上旬）
- ・ 「広域振興局ナビ！」Vol.43 (H26.6)
- ・ 被災者相談支援センターだより（2014年6月・7月）
- ・ 平庭高原つつじまつり
- ・ 平庭闘牛大会
- ・ 第2回「北国の春」全国大会
- ・ 第32回洋野町はまなすマラソン大会

懇談項目 1	第3期 県北ものづくり改善塾の開講について (経営企画部)
--------	----------------------------------

県北ものづくり産業ネットワーク※(代表：(株)三和ドレス・大沢孫蔵代表取締役)では、県北地域の企業に勤務する従業員の相互交流及び現場改善力の向上を促進するため、「第3期 県北ものづくり改善塾」を開催します。

製造工程や工場内における「ムダ取り」「5S」「作業改善」を研修の柱として、工場現場において改善の「気づき」を学ぶほか、先進工場の見学等によって改善の着眼点を養い、塾生の意識を向上することを目指します。

1 開講日時

第1回 平成26年6月19日(木) 10:00~16:00

2 開講期間

平成26年6月~11月(6ヶ月間、全6回)

3 会場

株式会社岩本電機(洋野町種市13-41-25)

4 講師

PSIコンサルティング 代表 堀内 厚 氏

北上川流域ものづくりネットワークコーディネーター 阿部 昌明 氏

5 募集人員

20名(先着順)

【参考】

◆ 県北ものづくり産業ネットワーク

ものづくり産業の一層の成長発展を促し、地域経済の活性化に貢献することを目的として平成20年に設立されました。会員企業相互や他圏域の企業、大学等研究機関との交流・連携を深めるとともに、企業、学校、産業支援団体、行政が一体となって県北地域のものづくり産業を支える人材を育成するための取組みを進めます。

会員数：90(H26.5.15現在)

◆ 県北ものづくり改善塾実績

平成24年度(第1期) 卒塾生：12名 会場：株式会社ツガワ二戸工場

平成25年度(第2期) 卒塾生：16名 会場：久慈衣料株式会社

担当：経営企画部産業振興課 熊谷 郁夫
電話：0194-53-4981 内線205

懇談項目 2	2014 フレッシュヤーズ・カフェ in 久慈琥珀の開催について (経営企画部)
--------	---

この春、久慈地域の高校を卒業し、地域内の事業所に就職した新規学卒者の早期離職防止や職場定着率向上を図るため、「2014 フレッシュヤーズ・カフェ in 久慈琥珀」を開催します。

1 対象者

平成 26 年 3 月に久慈管内の高等学校を卒業し、管内の事業所に就職した新規学卒者

2 開催日時

平成 26 年 6 月 20 日 (金) 18:40~20:30

3 会場

ビストロくんのこ (久慈市小久慈町 19-156-134 久慈琥珀博物館隣接)

4 主催等

主催：県北広域振興局、ジョブカフェ久慈

共催：久慈雇用開発協会

後援：久慈公共職業安定所

5 内容

(1) 講演

テーマ：「久慈地域の若き希望の星となるために」

講師：金野 馨氏 (ジョブカフェ久慈 センター長)

○ 現在の雇用情勢などを基に、仕事に対する取組等の認識を新たにする

(2) 先輩体験談 (管内就職者 1 名)

テーマ：「社会人になって感じたこと、悩み、困難の克服方法」

○ 地元で活躍する先輩の体験談を聞き、仕事を続けることの大切さ、困難の克服方法等を学ぶ

(3) ミニ同窓会 (懇親会)

○ それぞれの仕事、職場環境における現状等を語ることで、悩みなどを共有し、社会人としてのあり方や仕事に対する取組などを考える

6 参加予定者数

約 50 名

担当：経営企画部産業振興課 熊谷 郁夫

電話：0194-53-4981 内線 205

2014 ミニ同窓会

フレッシュ・カフェ

in久慈琥珀



社会人としてスタートされた皆さん！！新生活はいかがですか？
まだまだ、緊張と不安の日々と思いますが、久慈地区に就職した
同級生と会ってリフレッシュの時間を持ってみませんか？



久慈琥珀博物館



ピストロくんのこ



ミニ同窓会

見て！

食べて！

語ろう！

■場 所:ピストロくんのこ(久慈琥珀博物館隣接)

久慈市小久慈町19-156-134

TEL 0194-59-3881

■日 時:平成26年6月20日(金)

18:40~20:30

■参加費:無料

(久慈琥珀博物館入館料、くんのこ食事付)

■持ち物:筆記用具

※送迎バスを運行します

18:00発 ↓ 久慈市役所 ↑ 着21:00

18:15着 ↓ くんのこ ↑ 発20:45

※直接、会場へ来る方は、18:40までに、
お越し下さい



フレッシュ・カフェメニュー



18:15 久慈琥珀博物館 見学(自由見学)

18:40 開 会

18:45 講 話 テーマ:「～久慈地域の若き希望の星となるために～」

講 師:金野 馨氏(ジョブカフェ久慈センター長)

19:05 先輩体験談 テーマ:「社会人になって感じたこと、悩み、困難の克服方法」

発表者:久慈管内に就職した先輩1名

19:30 ミニ同窓会 おいしい料理を楽しみながら、仕事のこと、職場のことを同級生と
語りましょう♪出身校の先生方も来るよ(^o^)

20:30 閉 会



主催:岩手県北広域振興局、ジョブカフェ久慈

共催:久慈雇用開発協会

後援:久慈公共職業安定所

【申込み・お問い合わせ先】

ジョブカフェ久慈 久慈市川崎町13-1

TEL&FAX 0194-53-3344



ジョブカフェ久慈

仕事探し、企業活動の総合サポート

ジョブカフェ久慈は、就職活動のお手伝いや、在職中の
悩みや困りごとなどの相談も受け付けておりますので、
お気軽に来所してみてください♪

懇談項目 3	平成 26 年度「久慈地区クリーンいわて行動の日」の実施について (保健福祉環境部)
--------	---

久慈地区に勤務する県職員のボランティア活動の一環として、合同庁舎周辺市街地及び久慈川河川敷の清掃ボランティア活動を行います。

久慈地区は、NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」の放映や三陸鉄道の全線開通により全国から注目を集めており、観光客の方も多く訪れています。また、平成 28 年に開催される「希望郷いわて国体」・「希望郷いわて大会」の競技会場となることから、来県する皆さんをおもてなしするためのきれいな街づくりに県職員も貢献することを目的として実施します。

なお、久慈市役所、環境団体及び周辺事業所の方々にも協力をいただきます。

1 参加者

- ・ 県北広域振興局各部・各室、教育事務所の職員等
- ・ 久慈市役所
- ・ くじ・川の会
- ・ 周辺事業所（岩手銀行、北日本銀行、東北銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、宮城建設株式会社）

2 実施日時及び集合場所

日 時：平成 26 年 6 月 11 日（水） 17：30～18：30（小雨決行・雨天延期）

集合場所：久慈地区合同庁舎正面玄関前

3 参考（平成 25 年度の活動状況）

参加者数 180 名

4 活動範囲図



担当：保健福祉環境部環境衛生課 立花 一
電話：0194-53-4987 内線 325

懇談項目 4	中学生を対象とした医師の出前講座及び医療現場体験会の実施について (保健福祉環境部/久慈保健所)
--------	---

管内の中学生を対象に医師による講話及び病院での現場体験を実施することにより、医師・看護師等の職業の重要性について理解を深めてもらい、将来の久慈地域の医療を担う人材の育成に資することを目的として実施するものです。

平成 22 年度から平成 24 年度までは高校生を対象に 3 年間医療現場体験会を実施してきましたが、次のステップとして、より早い段階からのアプローチが有効と考え、中学生を対象として、昨年度から実施しているものです。

【事業内容】

(1) 医師による出前講座

学校名	実施日	時 間	講 師
野田村立野田中学校	6 月 20 日(金)	13 : 45～14 : 35	岩手県立久慈病院 臨床研修医
久慈市立長内中学校	6 月 23 日(月)	14 : 40～15 : 30	岩手県立久慈病院 下沖副院長
洋野町立大野中学校	6 月 23 日(月)	14 : 30～15 : 30	洋野町国民健康保険大野診療所 中村所長
久慈市立久慈中学校	6 月 24 日(火)	14 : 40～15 : 30	岩手県立久慈病院 下沖副院長
洋野町立種市中学校	7 月 2 日(水)	14 : 35～15 : 25	洋野町国民健康保険種市病院 磯崎院長
洋野町立中野中学校	7 月 4 日(金)	14 : 40～15 : 30	洋野町国民健康保険種市病院 荒谷外科医
普代村立普代中学校	7 月 14 日(月)	14 : 55～15 : 45	普代村国民健康保険診療所 柎屋所長
久慈市立侍浜中学校	7 月 16 日(水)	14 : 35～15 : 35	岩手県立久慈病院 臨床研修医

(2) 医療現場体験会

日時：平成 26 年 8 月上旬（午後の時間帯で 2 時間程度で実施）

会場：岩手県立久慈病院（久慈市旭町第 10 番地 1 番）



(昨年度の出前講座)



(昨年度の医療現場体験会)

担当：保健福祉環境部企画管理課 今野浩彦
電話：0194-53-4987 内線 244

懇談項目 5	平成 26 年度実施予定の農畜産物の高付加価値化推進に係る事業等について (農政部)
--------	---

県北広域振興局農政部では、農畜産物の高付加価値化を推進するため、今年度下記のような事業を実施する計画ですので、紹介します。

1 6次産業化等の推進

(1) 「6次産業化サポート会議」の開催

- ・ 当会議は、6次産業化実践者への支援を強化するため、振興局で平成 25 年度に設置したものです。今年度は、林務部、水産部も構成機関に加えて年 3 回会議を開催し、関係機関の連携による支援体制の強化を図ります。

(2) 実需者との取引拡大に向けた支援

- ・ 農業者と加工業者等とのマッチングや商品開発、販路拡大支援を随時行うとともに、首都圏シェフの生産現場視察案内や業界専門紙への県北食材 P R ちらし折込、料理教室への食材提案を計画しています。

(3) いわて農林水産業 6次産業化ステップアップ支援事業の実施

- ・ 久慈地域の原木椎茸を使用した商品開発と販路拡大に取り組む「はまなす亭」(洋野町)をモデル事業者を選定し支援しています。この事業により商品化した「鮭と椎茸ごはん」を今年度から販売するとともに、新たな商品開発を目指すこととしています。

2 産直活動の活性化

(1) 産直の売上拡大に向けた支援

- ・ 伝統野菜をテーマとした岩手県立大学との共同研究を実施しており、今年度は地きゅうり等の伝統野菜を使った料理の情報発信を行う予定です。
- ・ 平成 24 年度から開催している「北いわて“ガチンコ”産直甲子園」について、今年度も 10 月の開催を計画しています。(25 年度は、久慈 6、二戸 8 と計 14 産直施設が参加)

3 地域特産物の販売強化

(1) 山ぶどう(久慈地域は日本一の生産面積)

- ・ ワインの商品開発に向けた基礎データ収集のため、昨年度に引き続き主要系統の醸造試験を(独行)岩手県工業技術センターに委託して実施しており、冬季に生産者、販売者等を集めて「評価する会」を開催する予定です。
- ・ 平成 24 年度にイオンリテール(株)を構成員とした「太陽の山ぶどう倶楽部」を設立しており、付加価値商品の開発や山ぶどう商品のイオン店舗等での販売促進活動を支援する予定です。
- ・ 今年度新たに、久慈地域で、一般消費者を対象とした「山ぶどうワインと地域特産物を味わう会(仮称)」を開催する予定です。

担当：農政部農政調整課 長内 幸一
電話：0194-53-4983 内線 221

懇談項目 6	食の匠による高校生への郷土料理伝承会の開催について (農業改良普及室)
--------	---

久慈農業改良普及センターでは、H23 年度から久慈東高等学校と連携して、食物系列 3 学年の調理師免許取得を目指す生徒を対象に「食の匠による高校生への郷土料理伝承会」を授業の一環として開催しています。

久慈地域には岩手県知事が認定する食の匠が 22 人・組 (個人 16 人・団体 6 組、H26 年 5 月末現在) おり、「やませの郷 ^{さと} 食の技研究会」を組織し、永年受け継がれてきた地域の食文化や郷土料理等に関する知識・技術を受け継ぎ、その情報発信と次代への伝承を目的として活動しています。

地域の学校と連携し、明確な目的を持った若い世代への継続した伝承活動は県内でも先進的な取り組みであり、食の匠の活動にも大きな刺激となっているとともに、生徒達も大変興味をもって取り組み、学内で情報発信をしたり文化祭で販売提供したりと、校内活動に結びついています。

昨年度は「南部生湯葉 (大野)」、「けいらん (野田)」、「鮭の一匹料理 (久慈)」の 3 回実施しました。今年度の講師 3 人は東高校での指導は初めてであり、各地域の代表的な郷土料理「鯨汁 (種市)」、「けえの汁 (大野)」、「つぼ (つぼっこ) (久慈)」の 3 回を予定しています。

- 日 時 平成 26 年 6 月 6 日 (金) 11:00~13:00
- 場 所 久慈東高等学校家庭科調理室
- 対象者 久慈東高等学校食物系列 3 学年生徒 17 名
- 内 容 第 1 回伝承会『鯨汁』
講師：小向 広子氏
(洋野町種市：平成 24 年度認定)

洋野町種市の角浜地区には鯨にまつわる古い歴史があり、今でも鯨を祀った鯨州神社が地域住民に守られています。鯨汁は鯨本皮で出汁をとり、根菜類、寒大根、凍り豆腐を加えて煮る味噌仕立ての汁物です。昭和 40 年代半ば頃までは頻りに家庭で提供された角浜地区の庶民の味であり、冬場の代表的な郷土料理でしたが、近年、鯨肉を食す文化は薄れ、幻の料理となりつつあります。

【昨年度の伝承会の様子】



【H25】第 1 回「南部生湯葉」



【H25】第 2 回「けいらん」

【今後の予定】

- ・9 月 けえの汁
- ・11 月 つぼ (つぼっこ)

担当：久慈農業改良普及センター 中村 英明
電話：0194-53-4989 内線 252

懇談項目 7	主要農作物の生育状況について (平成 26 年 6 月 1 日現在) (農業改良普及室)
--------	---

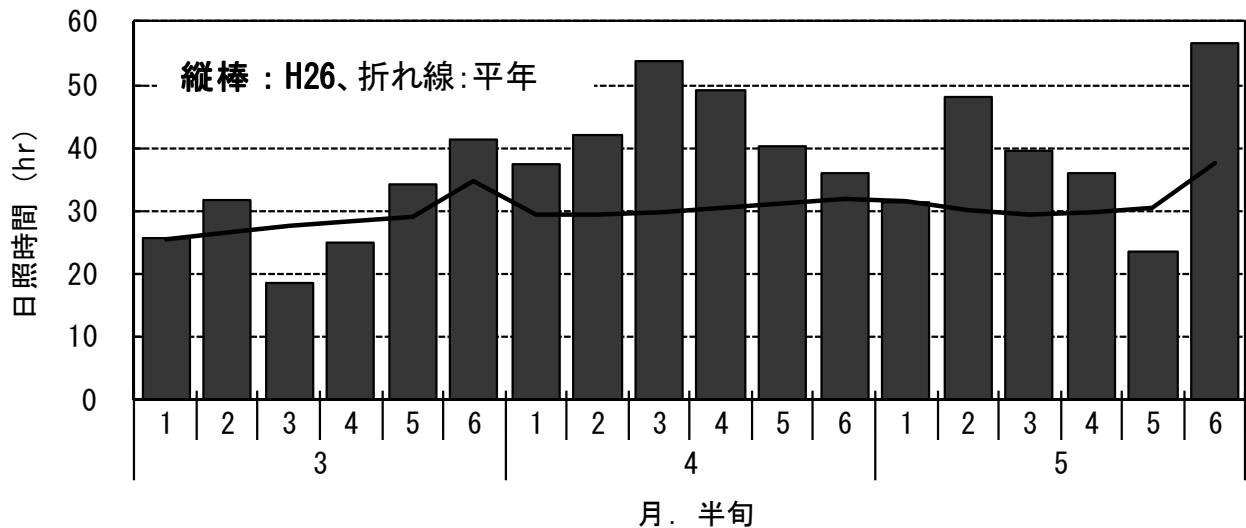
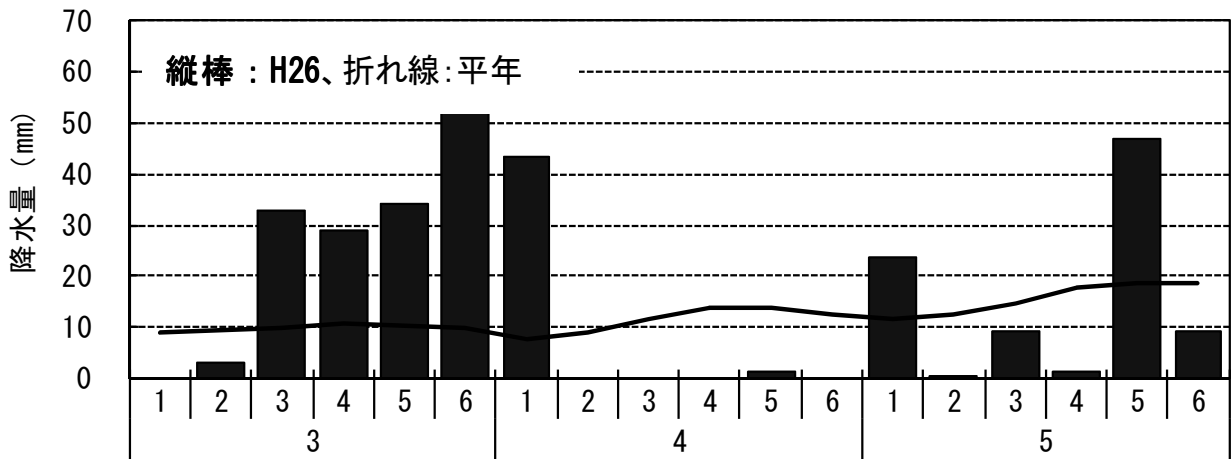
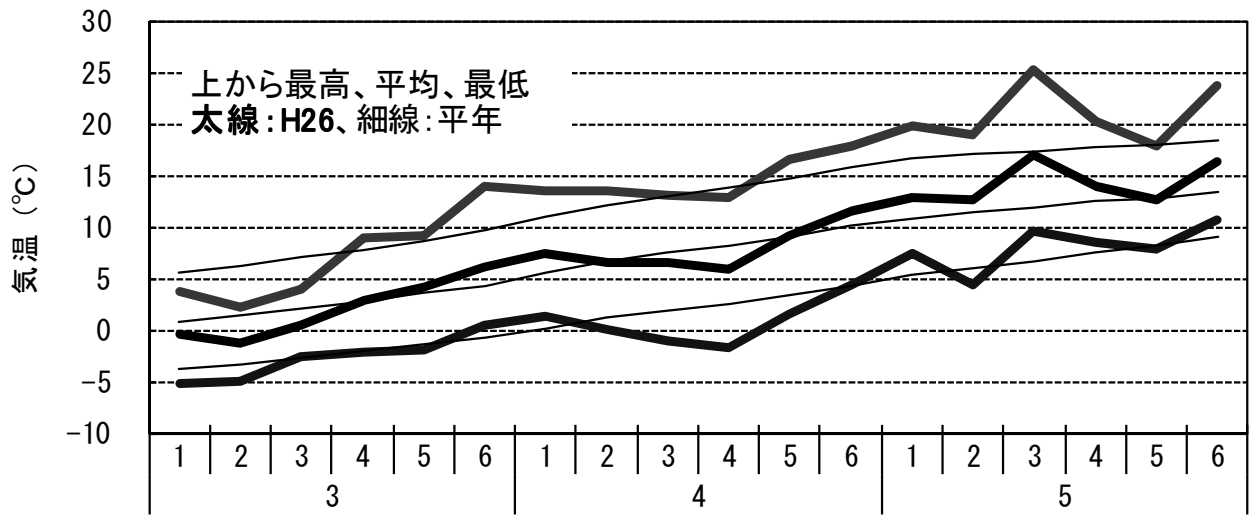
- 水稲の作業は平年よりやや遅れてスタートしましたが、平年並に作業を終えています。
- ほうれんそうの作業は2週間程度遅れています。

作物別の生育概況一覧

作物名	生育概況	備考
水 稲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雪の影響を受けてハウス等準備が遅れた地区もあり、久慈地域の田植えの始期 (10%) は5月 19 日で、平年より2日遅いスタートとなりました。その後雨の影響で田植えの盛期 (50%) は5月 24 日で平年より3日遅れたものの、その後は好天に恵まれ、平年と同じ5月 26 日に終期 (90%) を迎えました。 ・ 田植え後は好天が続き、活着は概ね良好です。 	平年の移植時期 始期：5月 17 日 盛期：5月 21 日 終期：5月 26 日
野 菜 (ほうれんそう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2~3月の大雪の影響で春作業が遅れたことにより、出荷物のピークも2週間前後遅れ (昨年比) ています。 ・ 5月下旬の出荷量は1200~1300箱/日で、昨年同時期と比較して600箱前後少なく推移しています。5月中の販売単価は80-90円/袋とやや高め (前年比+20円前後) で推移しました。 ・ 春先の乾燥により生育のばらつきや害虫の発生が目立ちました。べと病の発生も確認されたことから、指導会等で注意喚起と早期防除について呼びかけています。 	ほうれんそう 1箱 は25袋入り (170g/袋)
花 き	<ul style="list-style-type: none"> ・ りんどうの草丈は40~70cm程度となっています。ハダニ類の発生が多く、防除を呼びかけています。 ・ スプレーギクの8月出荷作型は5月20日前後に定植となり、現在草丈が15~25cm程度となっています。6月15日くらいから短日処理に入る見込みです。 	
果 樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ りんご：開花期、満開期、落花期は平年と比較して3~5日程度早まりました。 ・ やまぶどう：展葉期は平年並みです。開花期は平年 (6/10) より早まる見込みです。 	りんご(ふじ) 満開期：本年 平年 5/13 5/16
その他 特記事項		

担当：農政部農業改良普及室 本田 純悦
電話：0194-53-4989 内線 255

平成 26 年気象経過図 久慈アメダス



【これまでの気象概況】

5月の気温は、中旬に25°Cを超える日も数日あり、平年よりもやや高く推移しています。日照時間は平年よりも多く、5月中旬までの降水も少なかったため、4月以降の圃場の乾燥傾向は継続しています。

懇談項目 8	第34回久慈地区乾しいたけ品評会の開催について (林務部)
--------	--------------------------------------

放射性物質の影響により、県品評会や久慈地区以外の地区品評会の開催が中止となる中、久慈地域では岩手県産乾しいたけブランドの確立、生産者の生産技術の向上を目指すとともに、管内生産者の意欲と頑張りを情報発信することで、当地域はもとより、県全体の乾しいたけ生産の早期復興を図るため、今年も乾しいたけ品評会を開催します。

1 日時・場所

行事名	開催日	時間	場所
出品物展示	6月10日（火）	10：00～16：00	久慈地区合同庁舎6階大会議室
褒賞授与式		14：00～15：00	〃

※ 出品物の審査は6月5日（木）に合同庁舎で行います。（非公開）

2 出品銘柄

天白どんこ、茶花どんこ、どんこ、こうこ、こうしん の5銘柄

3 褒賞授与数

優秀賞5点、優良賞12点、奨励賞27点 計44点以内

4 全国乾椎茸品評会への出品

高品質な乾しいたけとして評価を受けている「岩手産」の名を絶やさぬよう、地区品評会出品物のうち、品質が高いと認められたものは、第62回全国乾椎茸品評会に出品*されます。

※ 今年度も岩手県乾しいたけ品評会の開催が見送られたが、県品評会事務局を通じて、久慈地区品評会の優秀作品をはじめ、他の出荷制限を受けていない市町村からの優秀な作品が県代表として出品される予定。

5 主催

久慈地方林業振興協議会(会長：久慈市長)

6 後援

久慈地方しいたけ産業振興協議会、久慈市しいたけ生産推進協議会、洋野町しいたけ産業振興協議会、野田村しいたけ推進協議会、普代村しいたけ推進協議会、県北広域振興局

久慈地方の乾しいたけ生産について

○ 豊富な生産量

豊かな広葉樹資源を背景に乾しいたけの生産が積極的に進められ、平成24年には県内生産量101tのうち約6割（62t）を占める一大産地を形成しています。

○ 確かな品質

全国品評会・県品評会において上位入賞を果たすなど、品質でも高い評価を得ているほか、県品評会では、当管内市町村が例年優秀な成績を収めており、特に洋野町(旧種市町を含)は、団体の部で平成13年～23年まで11年連続優勝を果たしています。(24年以降は県品評会開催休止中。)

担当：林務部林業振興課 三宅 隆志
電話：0194-53-4984 内線 226

(これまでの開催状況)



会場風景（6階大会議室）



各賞最優秀賞（5名を選出）



出品物展示状況

懇談項目 9

平成 26 年度岩手県漁業取締事務所久慈臨時事務所の開設について

(水産部)

岩手県漁業取締事務所では、県北地域におけるあわびの密漁取締り等の強化を図るため、平成 17 年度から久慈臨時事務所（詰所）を開設（震災のため H23、24 年度は開設せず）しておりますが、本年度も、県北広域振興局水産部（久慈市八日町 1-1）内に開設します。つきましては、次のとおり開所式を行いますので、お知らせいたします。

1 日 時

平成 26 年 6 月 10 日（火）13 時 15 分～14 時

2 場 所

久慈地区合同庁舎（久慈市八日町 1-1）

(1) 臨時事務所看板掲示：6 階 県北広域振興局水産部

(2) 開所式：1 階 県民ホール

3 その他

(1) 開所式の進行

ア 出席者は 1 階県民ホールへ集合

イ 開所式に先立ち、出席者は 1 階県民ホールから同庁舎 6 階に移動
県北広域振興局水産部において、臨時事務所看板を掲示

ウ 看板設置後、出席者は再び 1 階県民ホールへ移動し、開所式開会

(2) 開所式の案内先

ア 県議会議員（久慈選挙区、九戸選挙区）

イ 八戸海上保安部長

ウ 久慈警察署長

エ 県北広域振興局管内の沿岸市町村水産担当課長

オ 岩手県漁業協同組合連合会代表理事会長

カ 県北広域振興局管内の沿海地区漁業協同組合代表理事組合長

キ 農林水産部長

ク 県北広域振興局長

担当：水産部水産振興課 川崎 義也

電話：0194-53-4985 内 233

懇談項目 10	二級河川久慈川及び夏井川築堤護岸改築工事の着工に係る安全祈願祭の開催について （土木部）
---------	--

この度、二級河川久慈川及び夏井川において県が進める津波対策（堤防嵩上）工事の着工に先立ち、工事期間中の安全と早期完成を祈念するため、施工者の主催により、次のとおり安全祈願祭が開催されますのでお知らせします。

- 1 日 時 平成26年6月10日（火） 11時～
- 2 場 所 久慈市長内町地内（久慈川右岸河口付近）
- 3 主催者 株式会社岩瀬張建設、宮城建設株式会社、蒲野建設株式会社

【事業概要】

平成23年3月11日の東日本大震災では、津波が防潮堤や堤防を大きく乗り越えたことから、周辺の津波浸水被害を防ぐため、T.P. 8.0mに堤防を嵩上げします。この高さは、国が進める久慈湾口防波堤の整備効果と併せ、東日本大震災の規模の津波でも浸水しないよう計画しています。

この事業に伴い、久慈川では湊橋とその前後の市道も改良します。湊橋は2車線に拡幅され、国道395号への接続も緩やかになるよう道路を迂回させます。また、歩行者が安全に通れるよう歩道も整備されます。

夏井川においても、夏井川沿いの市道および大湊橋も付け替えることとしています。

県ではこの事業のほか、久慈港諏訪下地区及び久慈湊漁港海岸で進められている防潮堤工事とあわせ、久慈市と一体となって安全・安心なまちづくりを進めることとしています。

【工事概要】

別紙を参照してください。

【安全祈願祭会場】



担当：土木部河川港湾課 鎌田 進
電話：0194-53-4990 内線 281

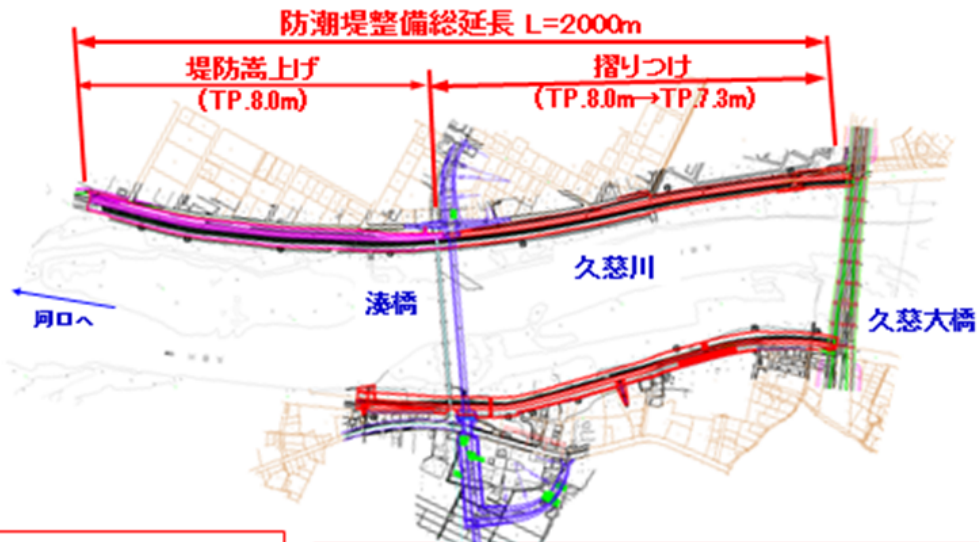
久慈川・夏井川三陸高潮対策事業概要

1 久慈川の事業概要

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、津波が防潮堤を大きく乗り越えたことから、周辺の津波浸水被害を防ぐため、T.P. 8.0m に堤防を嵩上げします。この高さは久慈港諏訪下地区・久慈湊漁港海岸防潮堤と同じ高さで整備し、国で進める久慈湾口防波堤の整備効果と併せ、東日本大震災の規模の津波でも浸水しないよう計画しています。

久慈川の堤防嵩上げに伴い、湊橋とその前後の市道も改良します。湊橋は 2 車線に拡幅され、国道 395 号への接続も緩やかになるよう道路を迂回させます。また、歩行者が安全に通れるよう歩道も整備されます。

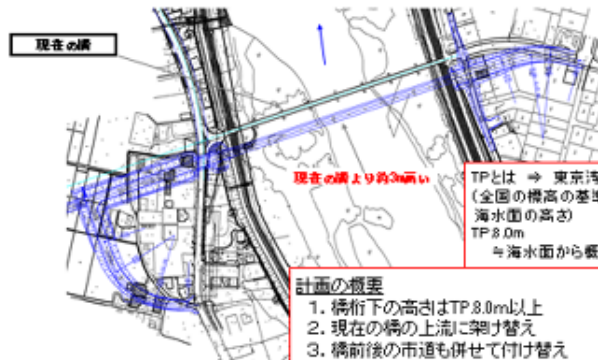
- (1) 堤防延長 2,000m (右岸 1,200m、左岸 800m)
- (2) 計画高さ T.P. 8.0m
- (3) 市道付替延長 890m (うち湊橋 270m)
- (4) 市道幅員 9.5m (車道 7.0m + 歩道 2.5m)
- (5) 事業期間 平成 24 年度～平成 29 年度
- (6) 総事業費 約 42 億円



TPとは ⇒ 東京湾平均海面
(全国の標高の基準となる
海水面の高さ)
TP 8.0m
≒ 海水面から概ね 8m

計画の概要

1. 河口付近から湊橋まで堤防をTP.8.0mに嵩上げ
2. 湊橋を架け替え
3. 湊橋久慈大橋まで摺りつけ(TP.8.0m→現況高)



計画の概要

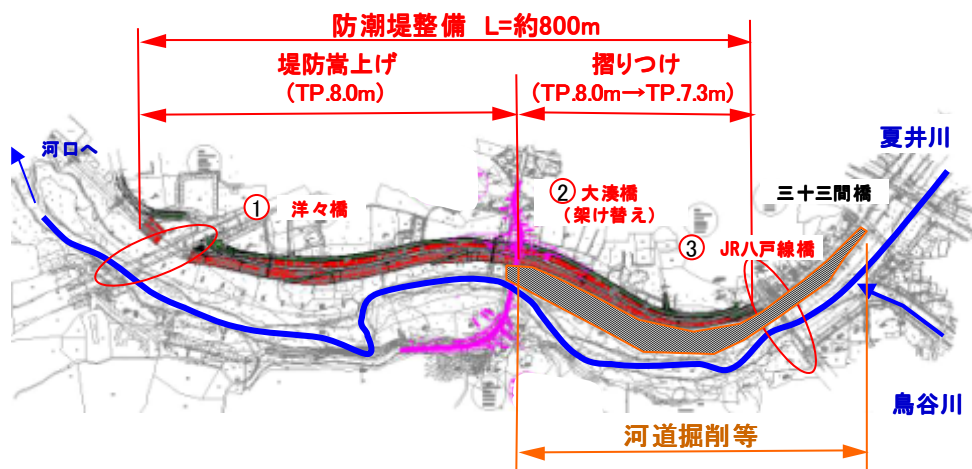
1. 橋桁下の高さはTP.8.0m以上
2. 現在の橋の上流に架け替え
3. 橋前後の市道も併せて付け替え

2 夏井川の事業概要

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、津波が堤防を大きく乗り越えたことから、周辺の津波浸水被害を防ぐため、T. P. 8.0m に堤防を嵩上げします。この高さは久慈湊漁港海岸防潮堤と同じ高さで整備し、国が進める久慈湾口防波堤の整備効果と併せ、東日本大震災の規模の津波でも浸水しないよう計画しています。

夏井川の堤防嵩上げに伴い、夏井川沿いの市道久慈湊大湊線および大湊橋とその前後の市道も付け替えることとしています。

- (1) 堤防延長 800m (右岸 800m)
- (2) 計画高さ T. P. 8.0m
- (3) 事業期間 平成 24 年度～平成 27 年度
- (4) 総事業費 約 20 億円

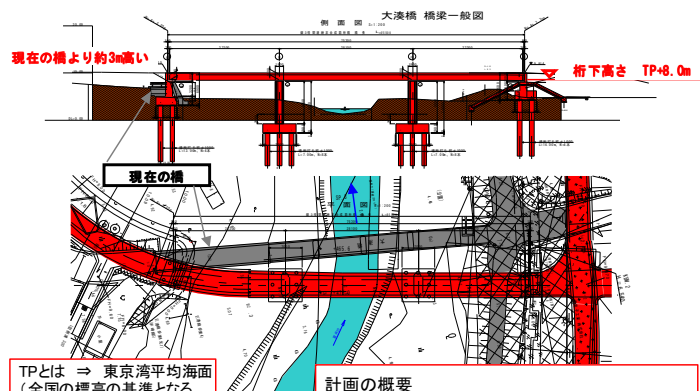


TPとは ⇒ 東京湾平均海面
(全国の標高の基準となる
海水面の高さ)

TP.8.0m
≒海水面から概ね8m

計画の概要

1. 洋々橋付近から大湊橋まで堤防をTP.8.0mに嵩上げ(右岸)
2. 大湊橋を架け替え
3. 大湊橋JR八戸線橋まで摺りつけ(右岸TP.8.0m→現況高)



TPとは ⇒ 東京湾平均海面
(全国の標高の基準となる
海水面の高さ)

TP.8.0m
≒海水面から概ね8m

計画の概要

1. 橋桁下の高さはTP.8.0m以上
2. 現在の橋の上流に架け替え
3. 橋前後の市道も併せて付け替え

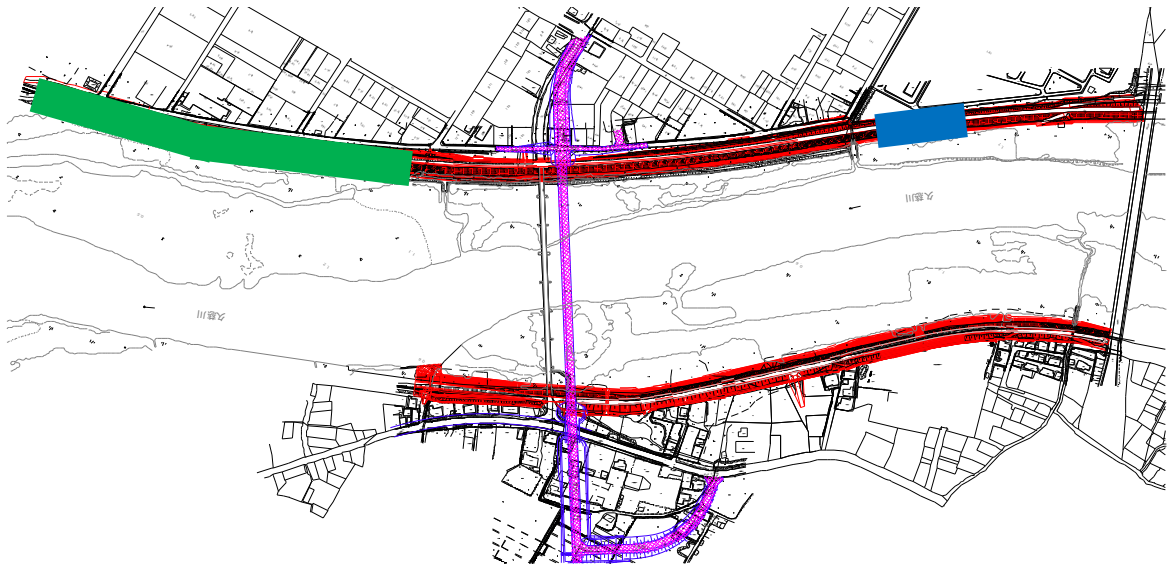
3 今回発注工事の概要

【二級河川久慈川筋長内町地区築堤護岸改築工事】

- (1) 施工者：株式会社岩瀬張建設
- (3) 工事期間：平成26年3月28日～平成27年2月18日
- (4) 契約額：84,996,000円（税込）
- (5) 工事概要：施工延長75m（右岸湊橋上流側）、築堤護岸被覆工75m

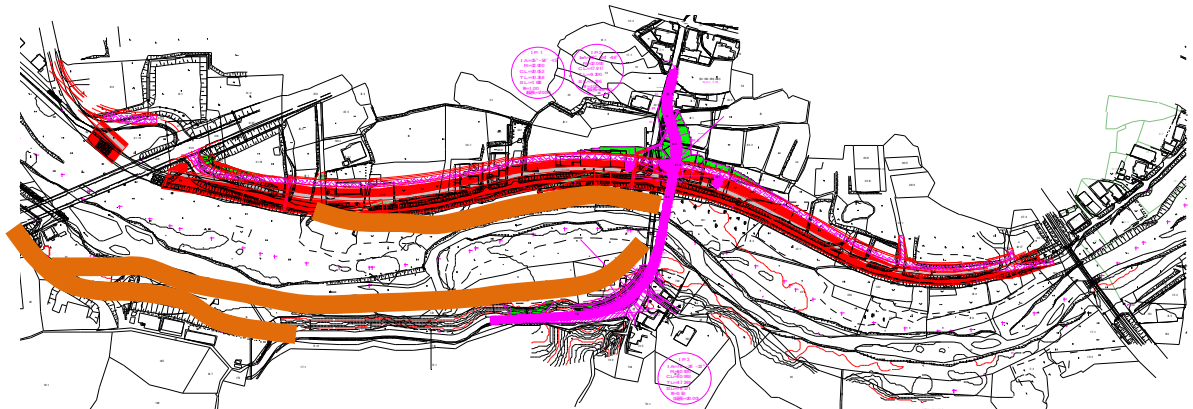
【二級河川久慈川筋長内町地区築堤護岸改築（その2）工事】

- (1) 施工者：宮城建設株式会社
- (3) 工事期間：平成26年3月28日～平成27年9月28日
- (4) 契約額：369,144,000円（税込）
- (5) 工事概要：施工延長300m（右岸湊橋下流側）、築堤護岸被覆工300m



【二級河川夏井川筋大湊地区仮設道路工事】

- (1) 施工者：蒲野建設株式会社
- (3) 工事期間：平成26年3月28日～平成26年9月16日
- (4) 契約額：61,560,000円（税込）
- (5) 工事概要：施工延長 左岸市道迂回路251.5m、左岸工事用道路480m、右岸工事用道路268.5m



懇談項目 11

八木地区海岸防潮堤築造工事の着工に係る安全祈願祭の開催について
(土木部)

この度、八木地区海岸において県が進める津波対策（防潮堤新設）工事の着工に先立ち、工事期間中の安全と早期完成を祈念するため、施工者の主催により、次のとおり安全祈願祭が開催されますのでお知らせします。

- 1 日 時 平成26年6月13日（金） 10時30分～
- 2 場 所 洋野町種市第3地割地内（旧八木地区防災センター跡地）
- 3 主催者 株式会社プライム下館工務店

【事業概要】

平成23年3月11日の東日本大震災では、津波が来襲し甚大な被害をもたらしたことから、八木地区の津波浸水被害を防ぐため、T.P. 12.0mの防潮堤を新設します。

県ではこの事業のほか、八木地区漁業集落防災機能強化事業とこれに伴う県道改良事業などとあわせ、洋野町と一体となって安全・安心なまちづくりを進めることとしています。

【工事概要】

別紙を参照してください。

【安全祈願祭会場】

担当：土木部河川港湾課 鎌田 進
電話：0194-53-4990 内線 281

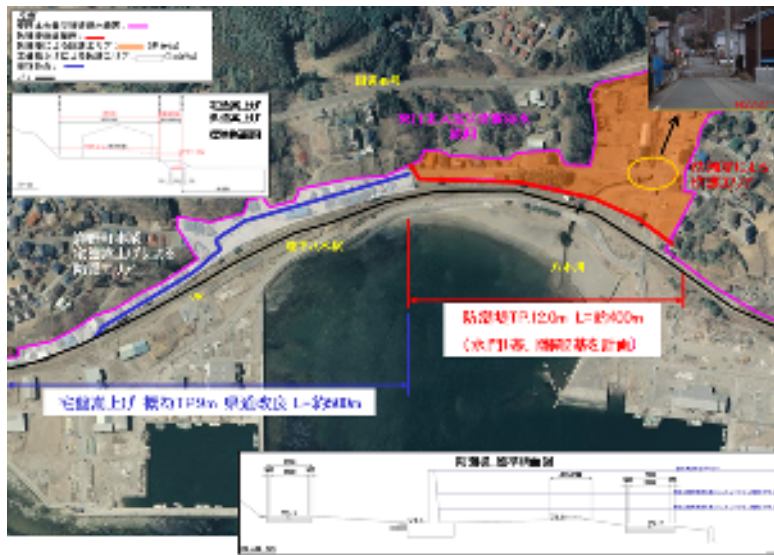
八木地区海岸高潮対策事業概要

1 八木地区海岸の事業概要

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、津波が来襲し甚大な被害をもたらしたことから、八木地区の津波浸水被害を防ぐため、T.P. 12.0m の防潮堤を新設します。

県ではこの事業のほか、八木地区漁業集落防災機能強化事業とこれに伴う県道改良事業などとあわせ、洋野町と一体となって安全・安心なまちづくりを進めることとしています。

- (1) 堤防延長 420m
- (2) 計画高さ T.P. 12.0m
- (3) 主な構造物 防潮堤 410m、八木川水門 1 基、陸閘 2 基
- (4) 事業期間 平成 24 年度～平成 27 年度
- (5) 総事業費 約 10 億円



2 今回発注工事の概要

【八木地区海岸防潮堤築造工事】

- (1) 施工者：株式会社プライム下館工務店
- (3) 工事期間：平成 26 年 3 月 28 日～平成 28 年 3 月 7 日
- (4) 契約額：324,000,000 円（税込）
- (5) 工事概要：施工延長 177.4m、防潮堤 154m、八木川水門 1 基、陸閘（町道）1 基



懇談項目 12	<p>今年も滝ダムに遊覧船が就航しています。 ～「海に見えるダム」におでんせ！～</p> <p style="text-align: right;">(土木部)</p>
---------	---

滝ダムは、主に洪水調節のための施設ですが、久慈湾から約8kmと市街地に近く、「海に見えるダム」としても知られており、溪流の面影が感じられる自然豊かなダム湖です。

この自然環境や水資源の重要性を認識する場として、また、観光資源として、地域の活性化に寄与することを目的に、**今年度も遊覧船が就航**しています。

- 1 **運航日** 平成26年4月26日～平成27年3月31日(但し、8/25～11/3の間は休航)
- 2 **予約先** 滝ダム周辺利活用推進協議会 事務局 TEL 0194-52-3333
- 3 **運航時刻** 午前10時、午前11時、午後1時、午後2時、午後3時
- 4 **所要時間** 約40分程度
- 5 **乗船料** 中学生以上700円、小学生以下500円、3歳未満は無料
- 6 **乗船場所** 滝ダム上流親水広場棧橋

〔 県道久慈岩泉線の滝トンネル岩泉側出口より100メートル付近
(のぼりが目印)、ここから旧県道を徒歩6分ほど下ります。 〕



乗船場所(親水広場棧橋)



遊覧船運航状況

7 1 運航当たりの定員

新和船(定員26名)、屋形船(定員12名)、和船(定員8名) **最大46名**

8 運航の主催等

主催：滝ダム周辺利活用推進協議会(0194-52-3333)

共催：久慈市(0194-52-2111 内線354)

協力：県北広域振興局土木部滝ダム管理事務所(0194-59-3838)

9 その他

湖面の状況及び天候等により、休航する場合があります。運航状況は予め事務局にお確かめください。

担当：土木部滝ダム管理事務所 畑村 清行
 電話：0194-59-3838

懇談項目	「土木部が行う津波防災教育」の実施について	(土木部)
------	-----------------------	-------

土木部では、東日本大震災以前から昨年度まで、小・中学生を主な対象として津波防災出前講座（津波に対する基礎知識の講義）を実施してきました。

しかし、**震災以後の津波防災対策の方針**（ハード整備の効果やその限界）等について、高校生及び大人も含め、**各年代への防災教育・啓発を行う必要がある**と考えており、**「県北広域振興局土木部が行う久慈地域における津波防災教育・啓発プログラム**（H26.1月）※別紙」を策定し、今年度以降は、上記プログラムに基づき、以下の2テーマについて、重点的に教育・啓発を行うものとなりました。

重点テーマ①：津波防災施設の効果と限界

重点テーマ②：多重防災型まちづくり（ハード・ソフト対策の融合）

プログラムの策定にあたっては、「**ハード整備を担当する部局として実施すべき津波防災教育は何か？**」との視点で全国の津波防災教育先例のヒアリング調査や学識者への意見聴取等を実施し、という**全国的にも先例が少ない「土木部局が行う津波防災教育のプログラム」の策定**に至りました。

各年代に行う津波防災教育は、以下の方法により実施します。

小学生：施設見学会、親子津波防災施設見学会（重点テーマ①）

中学生：津波防災出前講座（重点テーマ①）

高校生：津波防災出前講座（重点テーマ②）

大人：津波防災出前講座、親子津波防災施設見学会（重点テーマ①及び②）

開催場所及び日時

6/9 10:35～：洋野町立宿戸小学校：施設見学会：小子内地区海岸（洋野町）

6/11 9:30～：久慈市立久慈港小学校：施設見学会：久慈港海岸（久慈市）

6/12 10:15～：久慈市立小袖小学校：施設見学会：久慈港海岸（久慈市）

6/19 10:40～：普代村立普代小学校：施設見学会：普代水門（普代村）

6/24 10:30～：洋野町立中野小学校：施設見学会：小子内地区海岸（洋野町）

6/24 13:45～：洋野町立種市小学校：施設見学会：種市漁港海岸（洋野町）

6/26 14:40～：久慈市立長内中学校：学校にて出前授業を実施

※ 上記の他に、7月以降の分として、小学校：2校、中学校：1校、高校：1校の申し込みを受けています

例：出前講座（中学生）



例：施設見学会（小学生）



担当：土木部河川港湾課
鎌田進
電話：0194-53-4990
内線 264

県北広域振興局土木部が行う

久慈地域における津波防災教育・啓発プログラム



平成 26 年 1 月

県北広域振興局土木部

表紙の解説

水門見学会の様子

普代村を津波から
守った普代水門

東日本大震災津波の様子
小本川水門（岩泉町）

津波防災出前講座の様子

目 次

1. 土木部が伝えたい津波防災教育の内容	1
1.1 土木部が伝えたい津波防災教育の範囲.....	1
1.2 重点テーマ	3
1.3 津波防災教育の対象	4
1.4 土木部が伝えたい津波防災教育の内容と手法.....	4
2. 久慈地域における津波防災教育・啓発内容.....	8
2.1 小学校版	8
2.2 中学校版	9
2.3 高校版	12
2.4 大人版	15
(参考1) 津波防災学習自己学習用プリント (案)	19
(参考2) 土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕(案)	21
(参考3) 久慈みなと・さかなまつり企画 (案)	22

はじめに

●本小冊子「県北広域振興局土木部が行う 久慈地域における津波防災教育・啓発プログラム」

作成の趣旨

県北広域振興局土木部（以下、「土木部」と称します。）では、東日本大震災以前から、「津波防災出前講座」を小学校や中学校を対象に開催し、命を守るために大切な、津波からの避難や津波のメカニズム、地域を津波から守る津波防災施設などについて教えてきました。

また、土木部は復旧・復興公共事業として、久慈地域に津波防災施設を整備中であり、平成 27 年度末に完成予定です。ただし、その時点で東日本大震災から 5 年経過し、震災教訓の風化も懸念されます。

土木部は、施設の整備による安全対策を推進すると同時に、「施設には効果と限界があることを知ってもらい、地震・津波時の正しい対応を知っておくこと」は久慈地域（久慈市、洋野町、野田村、普代村）に住む子供から大人までの全ての方にとって重要なことだと考えています。

このような考えのもと、教育部局（学校、教育委員会等）や防災部局と土木部が連携しながら、久慈地域の津波防災教育の浸透を図るために、土木部が取り組むと効果的な津波防災教育の内容を整理し、この小冊子としてとりまとめました。

●本小冊子の対象

この小冊子は、以下の方を対象として作成しています。

- ・教育指導者（小学校、中学校、高校等の先生等）
- ・教育関係者（県・市の教育委員会、PTA等）
- ・防災関係者（自治体の防災部局担当者、自主防災組織のリーダー等）
- ・土木部局関係者（土木行政に関わる担当者）等

●本小冊子の活用

上記の対象の方々はこの小冊子を通じて、土木部が伝えたい津波防災教育の内容をご理解頂き、学校現場においては、授業、社会科見学、遠足等への組み込みなどをご検討頂きたいと考えています。それ以外にも復興事業説明会、各種イベント等の様々な場において「津波防災教育」を浸透させるためにご活用ください。

●津波に強い地域づくりのために

津波に強い地域づくりには、子供、大人、学校等、あらゆる立場で津波防災に必要な知識と理解を持ち、いざという時に行動できることが重要です。

本小冊子では、子供が大人に成長していく段階でその時々で知っておいて欲しい土木的視点を踏まえた津波防災教育の要素を盛り込んでいます。この内容は、講座を受けた生徒だけに知っておいて欲しい内容ではありません。保護者、地域の方々等にも知っておいて欲しい内容だと考えています。

平成 26 年 1 月
県北広域振興局土木部

1. 土木部が伝えたい津波防災教育の内容

1.1 土木部が伝えたい津波防災教育の範囲

津波防災教育に関しては、図 1-1 に示すように多様な機関があり、東日本大震災以前から相互に連携を取りながら津波防災教育が実施されてきました。また、震災以降にも新たな取り組みが行われ始めています。

(各機関の連携の例)

- ・ 県総務部総合防災室と県教育委員会による防災研修会の実施、教材作成
- ・ 岩手大学による県への教材作成支援、県教育委員会や県北広域振興局経営企画部が実施するセミナー等への講師協力

土木部が平成 25 年度まで実施してきた「津波防災出前講座」では、津波のメカニズム、津波の特徴、津波防災施設の役割、避難の重要性等について土木部職員が授業をし、土木部独自の活動として実施してきました。

しかし、津波防災に関する基礎的な知識を含めて伝える必要があったことから、土木的な内容が希薄になってしまう現状にありました。また、今後は、他機関が実施する教育内容との重複も考えられます。

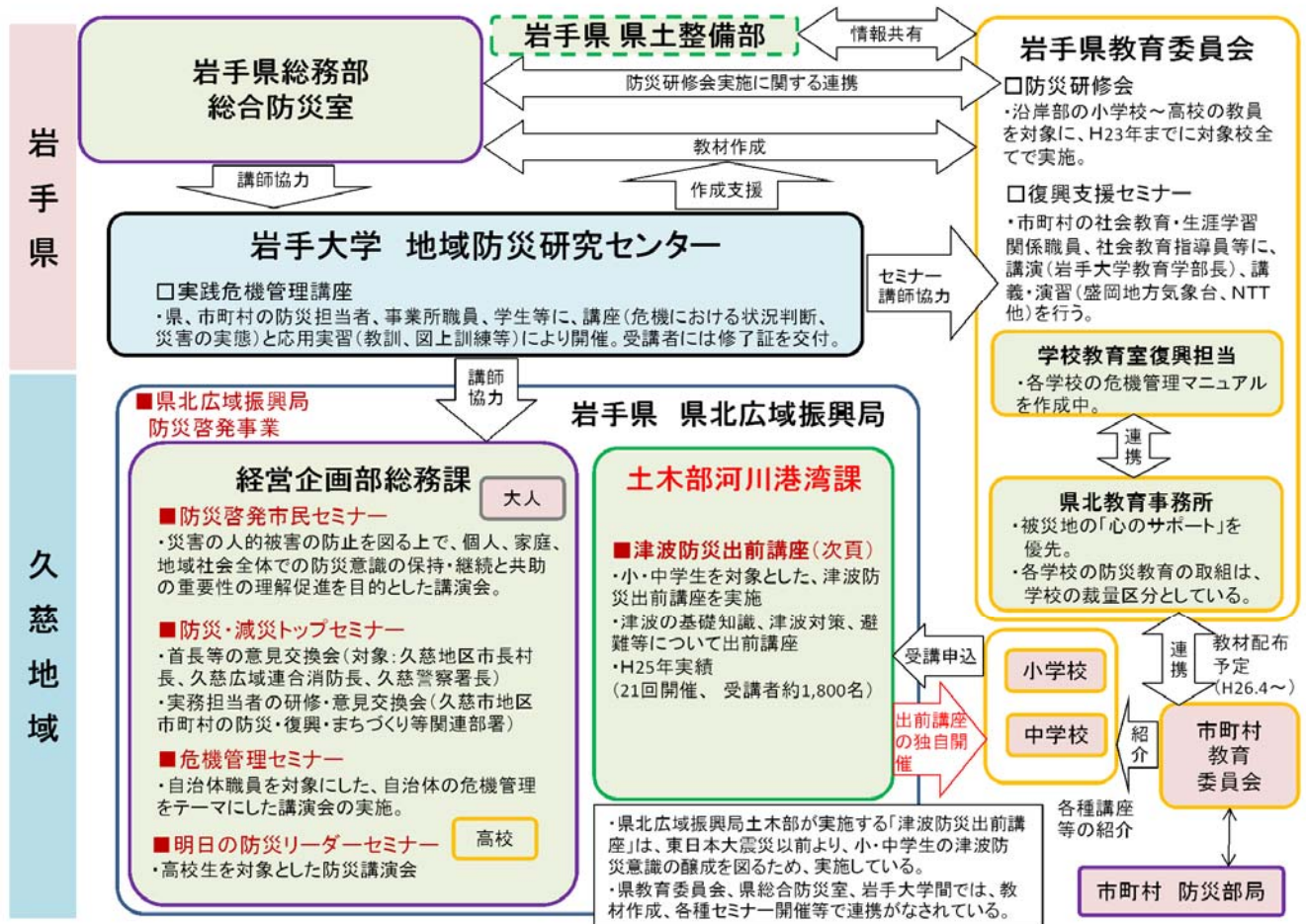


図 1-1 久慈地域における津波防災教育の現状

1.2 重点テーマ

土木部は、土木部が伝えたい津波防災教育の内容を検討するにあたり、震災教訓の風化を懸念しています。図 1-3 に示すように、現在土木部が実施している久慈地域の津波防災施設整備が全て完了する頃（平成 27 年度末を予定）には、東日本大震災から 5 年ほどが経過し、津波を経験していない世代も現れます。教訓が風化していく中で、施設が完成し施設への過度な信頼によって、再び大きな津波が発生した場合に人的被害が発生する可能性があります。

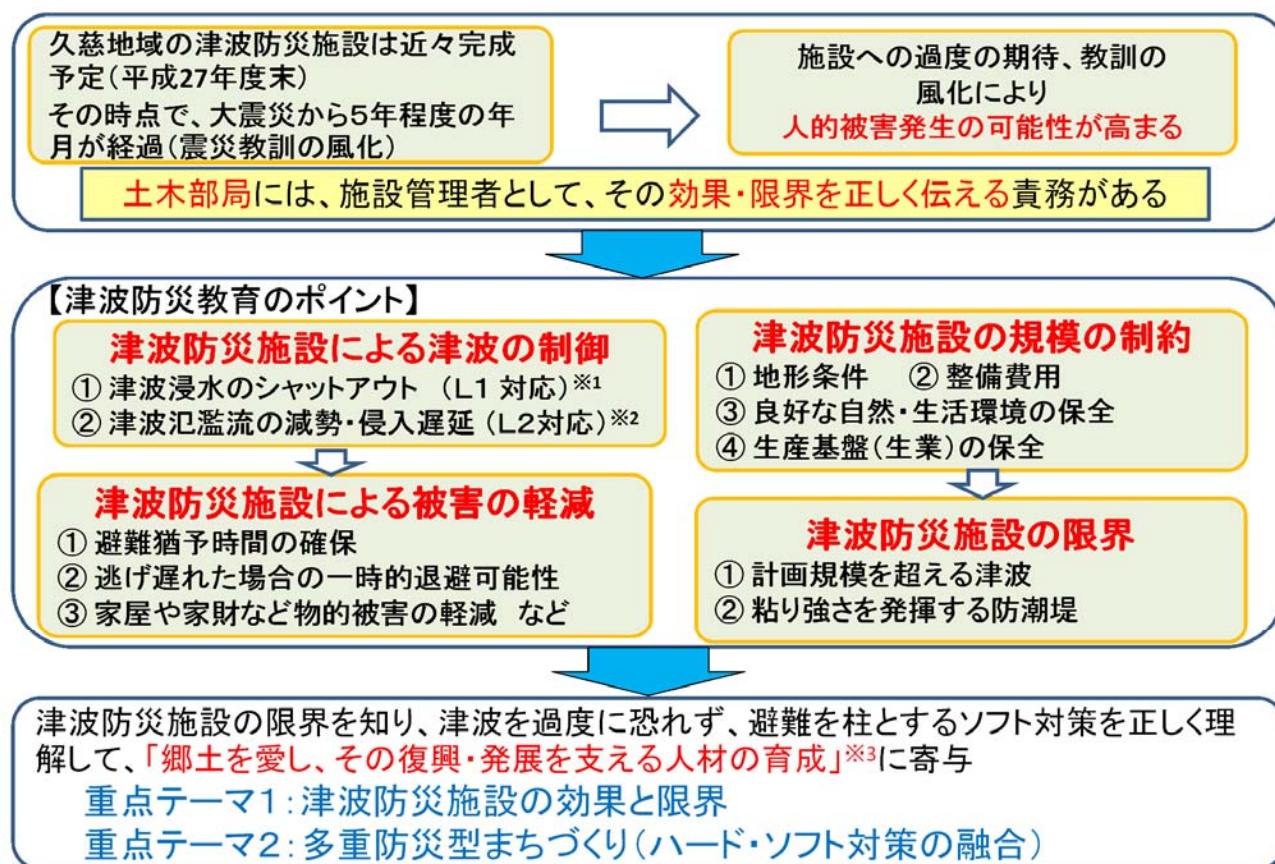
東日本大震災の教訓を活かし、大きな被害を出さないためにも、施設を整備・運用する土木部としては、「施設の効果と限界」を久慈地域に住む全ての方に正しく知って頂く必要があると考えています。

このため、土木部として伝えたい津波防災教育は、『津波防災施設の限界を知り、津波を過度に恐れず、避難を柱とするソフト対策を正しく理解して、「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材の育成」※に寄与する』ことを目的とし、以下の 2 つを重点テーマとすることにしました。

※岩手県教育委員会作成「いわての復興教育」プログラムより

重点テーマ 1：津波防災施設の効果と限界

重点テーマ 2：多重防災型まちづくり（ハード・ソフト対策の融合）



※1 L1(津波レベル1)とは、数十年～百数十年周期で発生する津波のこと。

※2 L2(津波レベル2)とは、既往最大クラス(東日本大震災津波等)の津波のこと。

※3 「いわての復興教育」プログラムの目的

図 1-3 重点テーマの考え方

1.3 津波防災教育の対象

重点テーマに従った津波防災教育を実施していくには、防災のプロセスや計画外力などのある程度の科学的知識や思考力が必要となり、中学生以上が適切だと考えます。しかし、小学生であっても、現地見学会等であれば内容を理解することが可能です。従って、土木部は、発達段階別に以下の「土木部が伝えたい教育の目標」を設定し、それに沿った津波防災教育を実施していくことを考えています。

「土木部が伝えたい教育の目標」

小学校：教育・防災部局での授業等で地震・津波時の対応（避難）、津波のメカニズム等の基礎的事項を知っていることを前提の上、社会科見学等で津波防災施設を見学し、施設の存在や役割を知る。

中学校：小学校での教育内容を再確認しつつ、地域を津波から守る土木施設について知り、理解する。

高校：小学校、中学校での教育内容を再確認しつつ、多重防災型まちづくりについて知り、考えることができる。

大人：復旧・復興の将来像をイメージし、地域を津波から守る土木施設、多重防災型まちづくりについて知り、考えることができる。

1.4 土木部が伝えたい津波防災教育の内容と手法

土木部は、重点テーマに従い小学生から大人までを対象として、それぞれに対して効果的と考える形式及び重点テーマを設定しました。特に、小学校、中学校、高校に対しては、岩手県教育委員会による「いわての復興教育」プログラム〔改訂版〕（平成 25 年 2 月）に沿った内容としています。

具体的には、「いわての復興教育」プログラムにおける 3 つの教育的価値と具体の 21 項目のうち、主に以下の 3 つに即した内容となっています（表 1-1 参照）。

「いわての復興教育」プログラム〔改訂版〕のうち、

土木部が伝えたい津波防災教育と関係する主な項目

2【かかわる】震災津波の経験を踏まえた人の絆の大切さ／地域づくり／社会参画

14. 復旧・復興へのあゆみ

3【そなえる】震災津波の経験を踏まえた自然災害の理解／防災や安全

15. 東日本大震災津波の様子と被害の状況

20. 学校・家庭・地域での日頃の備え

表 1-1 対象別の主な形式、重点テーマ及び対応する「いわての復興教育」プログラム

対象	主な形式	重点テーマ	対応する主な「いわての復興教育」プログラム
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学会^{※1} (P. 8) 親子津波防災施設見学会^{※2} (P. 22) 	<p>①津波防災施設の効果と限界</p> <p>津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果について知ること、自分の住む地域やまちを理解し、大事にする気持ちを持つ。</p>	20. 学校・家庭・地域での日頃の備え
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災出前講座^{※3} (P. 9) 自己学習用プリント配布 	<p>①津波防災施設の効果と限界</p> <p>津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果について知ること、地域を守る社会の仕組みや職業があることを知る。</p>	15. 東日本大震災津波の様子と被害の状況 20. 学校・家庭・地域での日頃の備え
高校	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災出前講座^{※3} (P. 12) 自己学習用プリント配布 	<p>②多重防災型まちづくり（ハード・ソフト対策の融合）</p> <p>津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果や地域で行われている復旧・復興事業について知ること、土木施設には効果と限界があり、それを補うために避難などのソフト対策も必要であることを理解する。</p> <p>また、東日本大震災の教訓を踏まえた、津波防災施設の設計の考え方などの工学的な視点について興味を持つ。</p>	14. 復旧・復興へのあゆみ 15. 東日本大震災津波の様子と被害の状況 20. 学校・家庭・地域での日頃の備え
大人	<ul style="list-style-type: none"> 事業説明会での小講座 (P. 15) 津波防災出前講座 (P. 17) 親子津波防災施設見学会^{※2} (P. 22) 	<p>①津波防災施設の効果と限界</p> <p>津波時の防潮堤の効果、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組みや効果、限界を知ること、安全なまちづくりに関心を持つ。</p> <p>②多重防災型まちづくり（ハード・ソフト対策の融合）</p> <p>津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果や地域で行われている復旧・復興事業について知ること、土木施設には効果と限界があり、それを補うために避難などのソフト対策も必要であることを理解する。</p>	— (プログラム対象外)

※1 施設見学会

津波防災に関する土木的教育内容は、津波に関する基礎的知識を必要とするため、小学生では、座学のみでの理解は難しいものの、社会科見学等で土木施設を見学しながらの教育では、内容が理解されやすいと考えています。

※2 親子津波防災施設（防潮堤、陸閘）見学会

土木部が管理する津波防災施設を対象として、施設見学と施設の効果や限界等を解説する現地見学会を実施します。平成 26 年は「久慈みなと・さかなまつり」の一環で実施し、親子津波防災教室を予定しています。

（参考 3）久慈みなと・さかな祭り企画（案）（P. 22）

※3 津波防災出前講座（1 時間程度）

総合学習等の時間への土木部による津波防災出前講座の導入のし易さを考慮し、1 時間（実質 50 分）の講座形式を前提としています。

表 1-2 土木部が伝えたい津波防災教育の内容

対象	小学校 (P. 8)	中学校 (P. 9)	高校 (P. 12)	大人 (事業説明会) (P. 15)	大人 (津波防災講座) (P. 17)
重点テーマ	①施設の効果と限界	①施設の効果と限界	②多重防災型まちづくり	①施設の効果と限界	②多重防災型まちづくり
導入	見学対象の津波防災施設 (水門等) の規模を体感する。	津波の脅威を再確認する。	津波の脅威を再確認する。	【復興事業計画説明会】 【現地見学会】	津波の脅威を再確認する。
展開1	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。	東日本大震災における公共土木施設の効果と限界を事例を通して知る。	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。	東日本大震災における公共土木施設の効果と限界を事例を通して知る。	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。
展開2	【津波防災施設見学】	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知り、まちを守る仕組みについて考える。	久慈地域で行われている復旧・復興計画の概要及び津波防災に関する取り組みを知り、安全なまちについて考える。	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。	久慈地域で行われている復旧・復興計画の概要及び津波防災に関する取り組みを知る。
まとめ	—	土木施設によってレベル1 ^{※1} の津波に対しては、人命と財産を守り、レベル2 ^{※2} の津波に対しては、津波の力を弱めることにより被害の軽減や避難猶予時間の確保を目的としていることを理解する。	土木施設によってレベル1 ^{※1} の津波に対しては、人命と財産を守り、レベル2 ^{※2} の津波に対しては、津波の力を弱めることにより被害の軽減や避難猶予時間の確保を目的としていることを理解する。	質疑応答	質疑応答
確認	地震が来たらすぐに安全な場所に避難することを確認しつつ、地域を津波から守っている土木施設があることを確認する。	津波防災施設があるからと安心せずに、地震が起きたら津波も想定した避難行動を取ることが必要であることを確認する。	津波防災施設の限界を知り、津波を過度に恐れず、避難を柱とするソフト対策を確認する。	—	—
「いわての復興教育」プログラムの主な該当項目	20. 日頃の備え	15. 東日本大震災 20. 日頃の備え	14. 復旧復興 15. 東日本大震災 20. 日頃の備え	—	—

※1 レベル1：数十年～百数十年周期で発生する津波のこと。

※2 レベル2：既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波のこと。

2. 久慈地域における津波防災教育・啓発内容

2.1 小学校版

久慈地域における津波防災教育啓発内容

小 学 校 版

指導する学年	小学校	指導する時間	社会科見学、遠足、総合的な学習の時間等	指導する時数	授業 15 分+ (見学約 30 分)
--------	-----	--------	---------------------	--------	---------------------

1. 重点教育テーマ

①津波防災施設の効果と限界

津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果について知ること、自分の住む地域やまちを理解し、大事にする気持ちを持つ。

2. 主に関連する「いわての復興教育」プログラム

20. 学校・家庭・地域での日頃の備え

3. 講座の構成（形式：施設見学会）

社会科見学や遠足等で、津波防災施設の見学をする際に、現地で施設見学と合わせて実施する授業です。以下は、仮に水門を見学した場合の内容です。

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
導 入	見学対象の津波防災施設（水門等）の規模を体感する。	5 分	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災時の津波の高さや津波跡、津波浸水高の看板等を確認する。 （問いかけ） →津波跡の高さを見て、地面から何メートルくらいあると思うかを聞いてみる。
展開 1	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。	10 分	<ul style="list-style-type: none"> 水門を閉鎖することで、津波の被害を軽減させることができることを教える。 実際に水門を閉鎖し、閉まった時の様子、閉まるまでに必要な時間等を説明する。 （問いかけ） →もし、今、地震や津波警報が鳴ったら、どういう行動をしたらよいかを聞いてみる。
展開 2	津波防災施設見学		
確 認	地震が来たらすぐに安全な場所に避難することを確認しつつ、地域を津波から守っている土木施設があることを確認する。		

4. 留意事項

- 海に近づくことで、津波を思い出させることがあり、そのような場合には、無理に見学をさせない。
- 現地までの移動等は各学校での手配をお願いいたします。

2.2 中学校版

久慈地域における津波防災教育啓発内容

中 学 校 版

指導する学年	中学1年生 ～3年生	指導する時間	総合的な学習の時間 等	指導する時数	1時間 (50分)
--------	---------------	--------	----------------	--------	--------------

1. 重点テーマ

①津波防災施設の効果と限界

津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果について知ること、地域を守る社会の仕組みや職業があることを知る。

2. 主に関連する「いわての復興教育」プログラム

- 15. 東日本大震災津波の様子と被害の状況
- 20. 学校・家庭・地域での日頃の備え

3. 講座の構成（形式：津波防災出前講座）

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
導入	津波の脅威を再確認する。	5分	・津波の動画を見て、津波の威力を再確認する。【資料1・2】
展開1	東日本大震災における公共土木施設の効果と限界を事例を通して知る。	10分	(施設の効果) ・久慈地域にある普代水門、太田名部防潮堤等の効果を説明する。【資料8】 (問いかけ) →もし、水門等が無かったらどうなっていたと思うかを聞いてみる。
展開2	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知り、まちを守る仕組みについて考える。	25分	(津波レベル) ・津波レベルには、レベル1（防災レベル、数十年～百数十年周期で発生する津波）とレベル2（減災レベル、既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波）の二つがあること、防護目標、津波対策の違いについて説明する。【資料20】
			(粘り強い構造) ・東日本大震災の教訓を活かし、防潮堤について粘り強い構造対策が導入された。これは、計画規模を超える津波に対しても、壊れにくくするものであり、人命を守るために、避難時間を確保すること等を目的としていることを説明する。【資料21】 (問いかけ) →粘り強くなったことで、どんな効果がありそうかを聞いてみる。

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
			(施設の種類) ・津波から地域を守る公共土木施設について施設の種類（防潮堤、水門、陸閘（りくこう）等）や目的を、写真、図式等で説明する。【資料3】 (問いかけ) →身の回りで見たことのある施設を聞いてみる。
			(水門等の自動化、遠隔操作化) ・現在進めている水門等の自動化、遠隔操作化等の仕組みを説明する。【資料7】 ・東日本大震災で、水門操作を行おうとして亡くなった消防団員等の方がいたことを紹介する。 (問いかけ) →なぜ、自動化、遠隔操作化などの整備を進めていると思うかを聞いてみる。
まとめ	土木施設によってレベル1※1の津波に対しては、人命と財産を守り、レベル2※2の津波に対しては、津波の力を弱めることにより被害の軽減や避難猶予時間の確保を目的としていることを理解する。	10分	・津波防災学習自己学習用プリントの〔中学校編〕を使い、今日学んだことを確認する。(参考1 (P.20)) ・今日の学習の感想を書き、津波から命を守るために、どんなことが大切かを考える。 ・土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕を紹介し、さらに深く理解できるよう誘導する。(参考2 (P.21))
確認	津波防災施設があるからと安心せずに、地震が起きたら津波も想定した避難行動を取ることが必要であることを確認する。		

※1 レベル1：数十年～百数十年周期で発生する津波のこと。

※2 レベル2：既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波のこと。

4. 使用する資料

- 【資料1】 津波の襲来（宮古市役所5階から）〔動画〕出典：津波防災教育用記録集-東日本大震災津波の記録資料-（岩手県）
- 【資料2】 大地震発生から1日 洋野町（3.11）〔写真〕出典：津波防災教育用記録集-東日本大震災津波の記録資料-（岩手県）
- 【資料3】 津波の進入を抑える防潮堤、水門、陸閘〔写真〕出典：土木部既往出前講座資料
- 【資料7】 全体システム系統構想図〔PPT〕出典：土木部提供資料
- 【資料8】 普代村を守った普代水門、太田名部漁港と防潮堤〔写真〕出典：岩手県 東日本大震災の記録（岩手県）
- 【資料20】 2段階（防災・減災）の総合的津波対策〔PPT〕出典：資料2 総合的な津波対策の考え方（国土交通省HP）
- 【資料21】 粘り強い防波堤構造のイメージ〔PPT〕出典：資料2 総合的な津波対策の考え方（国土交通省HP）

5. さらに理解を深めるために・・・

以下の内容は、上記の教育テーマの理解をさらに浸透させるための内容です。

(1) 自己学習用プリントの活用

巻末に示す「津波防災学習自己学習用プリント」では、津波の基礎的知識や講座の要点をわかりやすく整理し、解説しています。このプリントを講座の事前、事後に活用することで、より講座の理解を深めることができます。

例えば、講座の前に津波の発生メカニズムや津波の特徴などについて学ぶには〔基礎編〕を、講座で学んだ内容の確認や自己学習には〔中学校編〕を活用できます。また、関連する解説資料や動画などは、〔WEB版〕にまとめていますので、必要に応じてご活用ください。

(参考1) 津波防災学習自己学習用プリント〔基礎編〕〔中学校編〕(P.19～P.20)

(参考2) 土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕(P.21)

(2) 現地見学会の場合

組み合わせ例：1時間（50分）を教室等で上記の内容を学び、その後、現地見学会をする、等。

例1 津波から地域を守る効果のあった津波防災施設現地見学（普代水門、太田名部防潮堤等）

例2 津波防災施設現地見学（工事中、整備済みの現地）

例3 遠隔操作を行うオペレーションルームの現地見学

6. 学校との協議事項・留意事項

- ・授業の冒頭部で津波動画を使うことを説明しますが、場合によっては、津波の動画ではなく、写真だけで簡単に触れることも可能です。
- ・現地見学会を実施する場合は、現地までの移動等は各学校での手配をお願いいたします。

2.3 高校版

久慈地域における津波防災教育啓発内容

高 校 版

指導する学年	高校1年生 ～3年生	指導する時間	適宜	指導する時 数	1時間 (50分)
--------	---------------	--------	----	------------	--------------

1. 重点テーマ

②多重防災型まちづくり（ハード・ソフト対策の融合）

津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果や地域で行われている復旧・復興事業について知ること、土木施設には効果と限界があり、それを補うために避難などのソフト対策も必要であることを理解する。

また、東日本大震災の教訓を踏まえた、津波防災施設の設計の考え方などの工学的な視点について興味を持つ。

2. 主に関連する「いわての復興教育」プログラム

- 14. 復旧・復興へのあゆみ
- 15. 東日本大震災津波の様子と被害の状況
- 20. 学校・家庭・地域での日頃の備え

3. 講座の構成（形式：津波防災出前講座）

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
導 入	津波の脅威を再確認する。	5分	・津波の動画を見て、津波の威力を再確認する。【資料1・2】
展開1	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。	10分	(津波レベル) ・津波レベルには、レベル1（防災レベル、数十年～百数十年周期で発生する津波）とレベル2（減災レベル、既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波）の二つがあること、防護目標、津波対策の違いについて説明する。【資料20】
			(粘り強い構造) ・東日本大震災の教訓を活かし、防潮堤について粘り強い構造対策が導入された。これは、計画規模を超える津波に対しても、壊れにくくするものであり、人命を守るために、避難時間を確保すること等を目的としていることを説明する。【資料21】 (問いかけ) →粘り強くなったことで、どんな効果がありそうかを聞いてみる。

構成	内容(案)	時間(案)	方法(案)
			<p>(施設の種類)</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波から地域を守る公共土木施設について施設の種類(防潮堤、水門、陸閘(りくこう)等)や目的を、写真、図式等で説明する。【資料3】 <p>(問いかけ)</p> <p>→身の回りで見たことのある施設を聞いてみる。</p> <p>(水門等の自動化、遠隔操作化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在進めている水門等の自動化、遠隔操作化等の仕組みを説明する。【資料7・24】
展開2	久慈地域で行われている復旧・復興計画の概要及び津波防災に関する取り組みを知り、安全なまちについて考える。	25分	<p>(復旧・復興計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象自治体ごとの復興計画を紹介し、地域の将来像をイメージさせる。【資料28】 <p>(問いかけ)</p> <p>→災害に強いまちづくりにするためにどのような取り組みがされているかを聞いてみる。</p> <p>(復旧事業の種類)</p> <ul style="list-style-type: none"> 復旧・整備事業の種類を紹介する(防波堤・防潮堤等の建設、高台移転等)。【資料4・18・26】 <p>(多重防災型まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多重防災型まちづくり(防潮堤等のハード対策と避難等のソフト対策)の概念を説明する。 <p>(問いかけ)</p> <p>→防災施設で守り切れなかった場合は、どうしたらいいか聞いてみる。</p> <p>→安全なまちとはどんなまちだと思うかを聞いてみる。</p>
まとめ	土木施設によってレベル1※1の津波に対しては、人命と財産を守り、レベル2※2の津波に対しては、津波の力を弱めることにより被害の軽減や避難猶予時間の確保を目的としていることを理解する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災学習自己学習用プリントの〔高校編〕を使い、今日学んだことを確認する。(参考1(P.20)) 今日の学習の感想を書き、津波から命を守るために、どんなことが大切かを考える。 土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕を紹介し、さらに深く理解できるよう誘導する。(参考2(P.21))
確認	津波防災施設の限界を知り、津波を過度に恐れず、避難を柱とするソフト対策を確認する。		

※1 レベル1：数十年～百数十年周期で発生する津波のこと。

※2 レベル2：既往最大クラス(東日本大震災津波等)の津波のこと。

4. 使用する資料

- 【資料 1】 津波の襲来（宮古市役所 5 階から）〔動画〕 出典：津波防災教育用記録集-東日本大震災津波の記録資料-（岩手県）
- 【資料 2】 大地震発生から 1 日 洋野町（3.11）〔写真〕 出典：津波防災教育用記録集-東日本大震災津波の記録資料-（岩手県）
- 【資料 3】 津波の進入を抑える防潮堤、水門、陸閘〔写真〕 出典：土木部既往出前講座資料
- 【資料 4】 復旧・復興への取組み（復興計画・整備の効果）〔写真〕 出典：土木部既往出前講座資料
- 【資料 7】 全体システム系統構想図〔PPT〕 出典：土木部提供資料
- 【資料 18】 野田地区海岸 防潮堤・水門等の整備（イメージ）〔写真〕 出典：平成 25 年度県北広域振興局土木部業務方針（県北広域振興局土木部 HP）
- 【資料 20】 2 段階（防災・減災）の総合的津波対策〔PPT〕 出典：資料 2 総合的な津波対策の考え方（国土交通省 HP）
- 【資料 21】 粘り強い防波堤構造のイメージ〔PPT〕 出典：資料 2 総合的な津波対策の考え方（国土交通省 HP）
- 【資料 24】 水門等・陸閘位置図（市町村別）〔表〕 出典：土木部提供資料
- 【資料 26】 太田名部陸閘・水門の改修工事〔写真〕 出典土木部既往出前講座資料
- 【資料 28】 各自治体の復興計画（久慈市、洋野町、野田村、普代村）

5. さらに理解を深めるために・・・

以下の内容は、上記の教育テーマの理解をさらに浸透させるための内容です。

（1）自己学習用プリントの活用

巻末に示す「津波防災学習自己学習用プリント」では、講座の要点をわかりやすく整理し、解説しています。このプリントを講座の事前、事後に活用することで、より講座の理解を深めることができます。

例えば、講座の前に中学校で学んだ津波防災施設の種類や役割などを確認するには〔中学校編〕を、講座で学んだ内容の確認や自己学習には〔高校編〕を活用できます。また、関連する解説資料や動画などは、〔WEB 版〕にまとめていますので、必要に応じてご活用ください。

（参考 1）津波防災学習自己学習用プリント〔基礎編〕〔中学校編〕〔高校編〕（P.19～20）

（参考 2）土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB 版〕（P.21）

（2）講座の場合

例 1 東日本大震災における公共土木施設の効果と限界を事例を通して知る

（3）現地見学会の場合

組み合わせ例：1 時間（50 分）を教室等で上記の内容を学び、その後、現地見学会をする、等。

例 1 津波から地域を守る効果のあった土木施設現地見学（普代水門、太田名部防潮堤等）

例 2 土木施設現地見学（防波堤工事現場等）

6. 学校との協議事項・留意事項

- ・授業の冒頭部で津波動画を使うことを説明しますが、場合によっては、津波の動画ではなく、写真だけで簡単に触れることも可能です。
- ・現地見学会を実施する場合は、現地までの移動等は各学校での手配をお願いいたします。

2.4 大人版

久慈地域における津波防災教育啓発内容

大人版

指導する学年	大人（地域住民）	指導する時間	事業説明会等	指導する時数	20分
--------	----------	--------	--------	--------	-----

1. 重点教育テーマ

①津波防災施設の効果と限界

津波時の防潮堤の効果、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組みや効果、限界を知ること、安全なまちづくりに関心を持つ。

2. 講座の構成（形式：事業説明会での小講座）

市町村ごとに、地域住民を対象として、復旧・復興工事の事業説明会等を実施した後に、津波防災教育をする場合の構成です。

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
—	復興事業計画説明会もしくは現地見学会等		
導 入	—	—	—
展開 1	東日本大震災における公共土木施設の効果と限界を事例を通して知る。	5分	（施設の効果） ・ 普代水門、太田名部防潮堤の事例を紹介する。土木施設の高さと実際の津波高等の比較を通じ、土木施設の効果によって被害が軽減されたことを知る。【資料 8】
展開 2	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組みとその効果を知る。	15分	（津波レベル） ・ 津波レベルには、レベル 1（防災レベル、数十年～百数十年周期で発生する津波）とレベル 2（減災レベル、既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波）の二つがあること、防護目標、津波対策の違いについて説明する。【資料 20】
			（粘り強い構造） ・ 東日本大震災の教訓を活かし、防潮堤について粘り強い構造対策が導入された。これは、計画規模を超える津波に対しても、壊れにくくするものであり、人命を守るために、避難時間を確保すること等を目的としていることを説明する。【資料 21】

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
			（施設の種類） ・津波から地域を守る公共土木施設について施設の種類（防潮堤、水門、陸閘（りくこう）等）や目的を、写真、図式等で紹介する。【資料3・4】 ・水門等を自動化、遠隔操作化することの効果を説明する。【資料23・24】 ・防災施設に関する留意事項（陸閘が閉まることがあるので、地震や津波警報等が出たら直ちに堤防から陸側に出る、など）を説明する。
—	質疑応答	—	—
確認	津波防災施設の限界を知り、津波を過度に恐れず、避難を柱とするソフト対策を確認する。		

3. 使用する資料

- 【資料3】 津波の進入を抑える防潮堤、水門、陸閘〔写真〕出典：土木部既往出前講座資料
- 【資料4】 復旧・復興への取組み（復興計画・整備の効果）〔写真〕出典：土木部既往出前講座資料
- 【資料8】 普代村を守った普代水門、太田名部漁港と防潮堤〔写真〕出典：岩手県 東日本大震災の記録（岩手県）
- 【資料20】 2段階（防災・減災）の総合的津波対策〔PPT〕出典：資料2 総合的な津波対策の考え方（国土交通省HP）
- 【資料21】 粘り強い防波堤構造のイメージ〔PPT〕出典：資料2 総合的な津波対策の考え方（国土交通省HP）
- 【資料23】 水門等操作方針一覧表〔表〕出典：土木部提供資料
- 【資料24】 水門等・陸閘位置図（市町村別）〔表〕出典：土木部提供資料

4. 留意事項

- ・地震、津波により、生活の基盤を失った方がいることに配慮する。

久慈地域における津波防災教育啓発内容

大人版

指導する学年	大人（地域住民）	指導する時間	津波防災講座	指導する時数	1.5 時間 (講座 1 時間 + 質疑 30 分)
--------	----------	--------	--------	--------	----------------------------------

1. 重点テーマ

②多重防災型まちづくり（ハード・ソフト対策の融合）

津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果や地域で行われている復旧・復興事業について知ることで、土木施設には効果と限界があり、それを補うために避難などのソフト対策も必要であることを理解する。

2. 講座の構成（形式：津波防災出前講座）

地域ごとに、地域住民を対象にした津波防災講座を実施する場合の構成です。

構成	内容（案）	時間（案）	方法（案）
導入	津波の脅威を再確認する。	5 分	・津波の動画を見て、津波の威力を再確認する。【資料 1・2】
展開 1	津波時の防潮堤の効果や、水門等の自動閉鎖、遠隔操作等の仕組み、効果を知る。	25 分	(津波レベル) ・津波レベルには、レベル 1（防災レベル、数十年～百数十年周期で発生する津波）とレベル 2（減災レベル、既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波）の二つがあること、防護目標、津波対策の違いについて説明する。【資料 20】
			(粘り強い構造) ・東日本大震災の教訓を活かし、防潮堤について粘り強い構造対策が導入された。これは、計画規模を超える津波に対しても、壊れにくくするものであり、人命を守るために、避難時間を確保すること等を目的としていることを説明する。【資料 21】
			(施設の種類) ・津波から地域を守る公共土木施設について施設の種類（防潮堤、水門、陸閘（りくこう）等）や目的を、写真、図式等で説明する。【資料 3】
			(水門等の自動化、遠隔操作化) ・現在進めている水門等の自動化、遠隔操作化等の仕組みを教える。【資料 7・24】

構成	内容(案)	時間(案)	方法(案)
展開2	久慈地域で行われている復旧・復興計画の概要及び津波防災に関する取り組みを知る。	30分	(復旧・復興計画) ・対象自治体ごとの復興計画を紹介し、地域の将来像をイメージし、災害に強いまちづくりにするためにどのような取り組みがされているかを知る。 【資料28】 (復旧事業の種類) ・復旧・整備事業の種類を紹介する(防波堤・防潮堤等の建設、高台移転等)。 【資料4・18・26】 (多重防災型まちづくり) ・多重防災型まちづくり(防潮堤等のハード対策と避難等のソフト対策)の概念を教える。
—	質疑応答	30分	—
確認	津波防災施設の限界を知り、津波を過度に恐れず、避難を柱とするソフト対策を確認する。		

3. 使用する資料

【資料1】	津波の襲来(宮古市役所5階から)〔動画〕出典:津波防災教育用記録集-東日本大震災津波の記録資料-(岩手県)
【資料2】	大地震発生から1日 洋野町(3.11)〔写真〕出典:津波防災教育用記録集-東日本大震災津波の記録資料-(岩手県)
【資料3】	津波の進入を抑える防潮堤、水門、陸閘〔写真〕出典:土木部既往出前講座資料
【資料4】	復旧・復興への取り組み(復興計画・整備の効果)〔写真〕出典:土木部既往出前講座資料
【資料7】	全体システム系統構想図〔PPT〕出典:土木部提供資料
【資料18】	野田地区海岸 防潮堤・水門等の整備(イメージ)〔写真〕出典:平成25年度県北広域振興局土木部業務方針(県北広域振興局土木部HP)
【資料20】	2段階(防災・減災)の総合的津波対策〔PPT〕出典:資料2 総合的な津波対策の考え方(国土交通省HP)
【資料21】	粘り強い防波堤構造のイメージ〔PPT〕出典:資料2 総合的な津波対策の考え方(国土交通省HP)
【資料24】	水門等・陸閘位置図(市町村別)〔表〕出典:土木部提供資料
【資料26】	太田名部陸閘・水門の改修工事〔写真〕出典:土木部既往出前講座資料
【資料28】	各自治体の復興計画(久慈市、洋野町、野田村、普代村)

4. 留意事項

- ・地震、津波により、生活の基盤を失った方がいることに配慮する。

(参考1) 津波防災学習自己学習用プリント(案)

1. ねらい

「津波防災学習自己学習用プリント」を使い、教育現場で事前に津波防災の基礎的な知識を知っておくことや講座の後に講座で学んだことを確認することは、土木部が実施する津波防災出前講座の興味と理解を深める上で効果があると考えています。

このため、土木部では簡易的に津波防災の基礎知識や講座で学んだ要点を確認したり、自己学習できる自己学習用のプリントを作成します。

2. 概要

プリントの内容は、〔基礎編〕〔中学校編〕〔高校編〕とし、専門的な知識がなくても実施できる内容と量(各編 A4判、4ページ程度)としています。

3. プリントの内容

〔基礎編〕

基礎編では、大きく「津波のメカニズム」「津波の特徴」「三陸沿岸地域の過去の津波」「避難」「東日本大震災の様子」に分け、土木部が実施する津波防災出前講座の基礎知識として知っておいて頂きたい内容をプリントにまとめました。

表1 津波防災学習自己学習用プリント〔基礎編〕の内容(案)

項目	内容
津波のメカニズム	津波の原因
津波の特徴	津波の速さ、高さ、地形との関係等
三陸沿岸地域の過去の津波	明治三陸大津波、昭和三陸大津波等
避難	安全な避難場所、津波てんでんこ等
東日本大震災の様子	写真等

【中学校編】

中学校編では、大きく「施設の効果」「津波レベル」「粘り強い構造」「津波防災施設の種類」「東日本大震災の教訓」に分け、中学校の段階で知っておいて頂きたい内容をプリントにまとめました。

表 2 津波防災学習自己学習用プリント【中学校編】の内容（案）

項目	内容
施設の効果	東日本大震災で、津波防災施設のうち、効果のあった施設（普代水門、太田名部防潮堤（普代村））
津波レベル	津波には二つのレベルがあり、津波レベル1 ^{※1} より津波レベル2 ^{※2} の方が大きな津波である。 ※1 レベル1：数十年～百数十年周期で発生する津波のこと。 ※2 レベル2：既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波のこと。
粘り強い構造	東日本大震災の教訓を活かし、土木構造物に「粘り強い構造」という技術が導入された。防潮堤の計画規模を超える津波に対しても、壊れにくく、人命を守るために、避難時間を確保すること等を目的としている。
津波防災施設の種類	津波防災施設には、防潮堤、水門、陸閘（りくこう）等のいくつかの種類がある。
東日本大震災の教訓	東日本大震災の教訓を踏まえ、岩手県は水門操作の自動化、遠隔化を進めている。
その他	津波から命を守るために、どんなことが大切かを考えてみよう。

【高校編】

高校編では、中学校編の振り返りもしつつ、「津波の脅威」「東日本大震災の教訓を活かした技術」「復旧・復興計画」等の、高校の段階で知っておいて頂きたい内容をプリントにまとめました。

表 3 津波防災学習自己学習用プリント【高校編】の内容（案）

項目	内容
津波の脅威	東日本大震災の津波の様相を動画等で確認する。 久慈地域の津波跡高（最大） 久慈市（22.5m）、洋野町（15.0m）、野田村（27.9m）、普代村（24.0m）
津波レベル	津波レベルには二つある。 レベル1：防災レベル、数十年～百数十年周期で発生する津波 レベル2：減災レベル、既往最大クラス（東日本大震災津波等）の津波
粘り強い構造物	東日本大震災の教訓を活かし、土木構造物に「粘り強い構造」という技術が導入された。防潮堤の計画規模を超える津波に対しても、壊れにくく、人命を守るために、避難時間を確保すること等を目的としている。
津波防災施設の種類	津波から地域を守る公共土木施設には、いくつかの種類（防潮堤、水門、陸閘（りくこう）等）がある。
東日本大震災の教訓を活かした技術	東日本大震災では、消防団員の方などが水門等を閉めるために危険な現地に赴き、亡くなってしまった方もいる。現在進めている水門等の自動化、遠隔操作化等の整備はそのような教訓を踏まえている。
復旧・復興計画	地域の数十年後の様子を復旧・復興計画からイメージしてみる。

(参考2) 土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕(案)

1. ねらい

土木部では、津波防災出前講座を受講した学校の先生、生徒以外にも、広く津波防災に興味を持って頂くために、土木部が伝えたい津波防災教育の内容を「土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕」にまとめました。

2. 概要

津波防災出前講座に沿った内容をWEB資料と連動させ、図解付きでわかりやすく整理しています。WEB画面(トップ画面)のイメージを図1に示します。トップページからは、使い手別(学校の先生、自分で学びたい方)、知りたい内容別から資料を閲覧、ダウンロードすることができます。また、ワークシートや本小冊子等もダウンロードすることができます。

土木部が実施する津波防災出前講座の事前学習、事後学習の他に、講座を受けなくても自己学習等に活用出来ます。

The image shows a mockup of a website titled "土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕". It features a blue header with the title. Below the header, there is a section titled "1. 「土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕」について" which contains introductory text. This is followed by a section "2. あなたはどちら?" with two blue buttons: "指導者(学校の先生)" and "自分で学びたい方". Below that is "3. 知りたい内容は?" with several green buttons: "津波のメカニズム", "津波の特徴", "過去の津波", "東日本大震災津波", "避難", "津波に関する土木技術", and "津波防災施設". At the bottom, there is a section "4. 関連する資料(ダウンロードが来ます)" with two bullet points listing PDF documents. A footer at the very bottom provides contact information for the Iwate Prefecture Department of Civil Engineering.

土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕

1. 「土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕」について
岩手県北広域振興局土木部(以降、土木部とします。)では、広く津波防災に興味を持って頂くために、土木部が伝えたい津波防災教育の内容を「土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕」にまとめました。
教育現場で津波防災教育を教える方や津波防災について知りたい方などにご活用頂きたいと考えています。

2. あなたはどちら?

指導者(学校の先生) **自分で学びたい方**

3. 知りたい内容は?

津波のメカニズム **津波の特徴**

過去の津波 **東日本大震災津波**

避難

津波に関する土木技術 **津波防災施設**

復旧・復興計画

4. 関連する資料(ダウンロードが来ます)

- 県北広域振興局土木部が行う 久慈地域における津波防災教育・啓発プログラム(小冊子) pdf
- 津波防災学習自己学習用プリント pdf

このサイトに関する問い合わせ先: 岩手県北広域振興局土木部

図1 土木部が伝えたい津波防災教育の関係資料〔WEB版〕(トップページ)イメージ

(参考3) 久慈みなと・さかなまつり企画(案)

平成26年度久慈みなと・さかなまつり協賛 『久慈港津波防災探検隊!～久慈港の強いところを見つけよう～』計画書(案)

1. 目的

県北広域振興局土木部は、久慈市主催の「久慈みなと・さかなまつり」に協賛しており、この一環で「久慈港津波防災探検隊!～久慈港の強いところを見つけよう～」を開催する。この企画では、一般市民(小学生、大人)を対象として、久慈港にある津波防災施設を見学して頂き、津波防災施設の効果や限界について知り、ハード対策とソフト対策の融合によって津波に強いまちづくりへの関心を高め、また、理解の促進を図ることを目的とする。

2. 概要(案)

- 1) 実施年月日 : 平成26年7月下旬
- 2) 実施場所 : 久慈港(詳細な実施場所は、図1を参照)
- 3) 実施概要 : 以下のプログラムを参照。

表1 プログラム(案)

対象	コース	概要
親子	親子で久慈港津波防災探検隊 所要時間 : 30分程度 定員 : 1回30人程度 1日 : 2回実施 (午前1回、午後1回を想定)	津波防災施設を職員と共に親子で巡り、陸閘(りくこう)操作の体験や防潮堤高さ当てクイズ等を行う。

4) 受付方法 :

親子で久慈港津波防災探検隊(各回共に)

集合場所 : 久慈市漁港協同組合前

集合時間 : 各回の5分前(先着順、定員を超過した場合は、次回に優先的に参加予約可)

備考 : 受付時に住所、氏名を名簿に記入して頂き、解散時に人数等の確認を行う。

保護者同伴の小学生を対象とする。

5) 安全対策 :

- ・「親子で久慈港津波防災探検隊」は、1班につき職員2名を配置する。その他、運営本部には、緊急対応職員1人を配置する。

「親子で久慈港津波防災探検隊」見学体験コース図【案】

③防潮堤の高さはどれくらい？

Q. 久慈港の現在の防潮堤の高さは東日本大震災の津波の高さより高い。○ or ×

④まちを守る施設

Q. 防潮堤と防波堤は同じ意味である。
○ or ×

⑤陸閘（りくこう）って何だろう？

Q. 陸閘（りくこう）が閉まる時は、大津波警報が出た時である。○ or ×

⑥陸閘（りくこう）を閉めてみよう！

陸閘（りくこう）が手で閉まるまでどれくらいの時間がかかるかな？

⑦陸閘（りくこう）があれば安心かな？

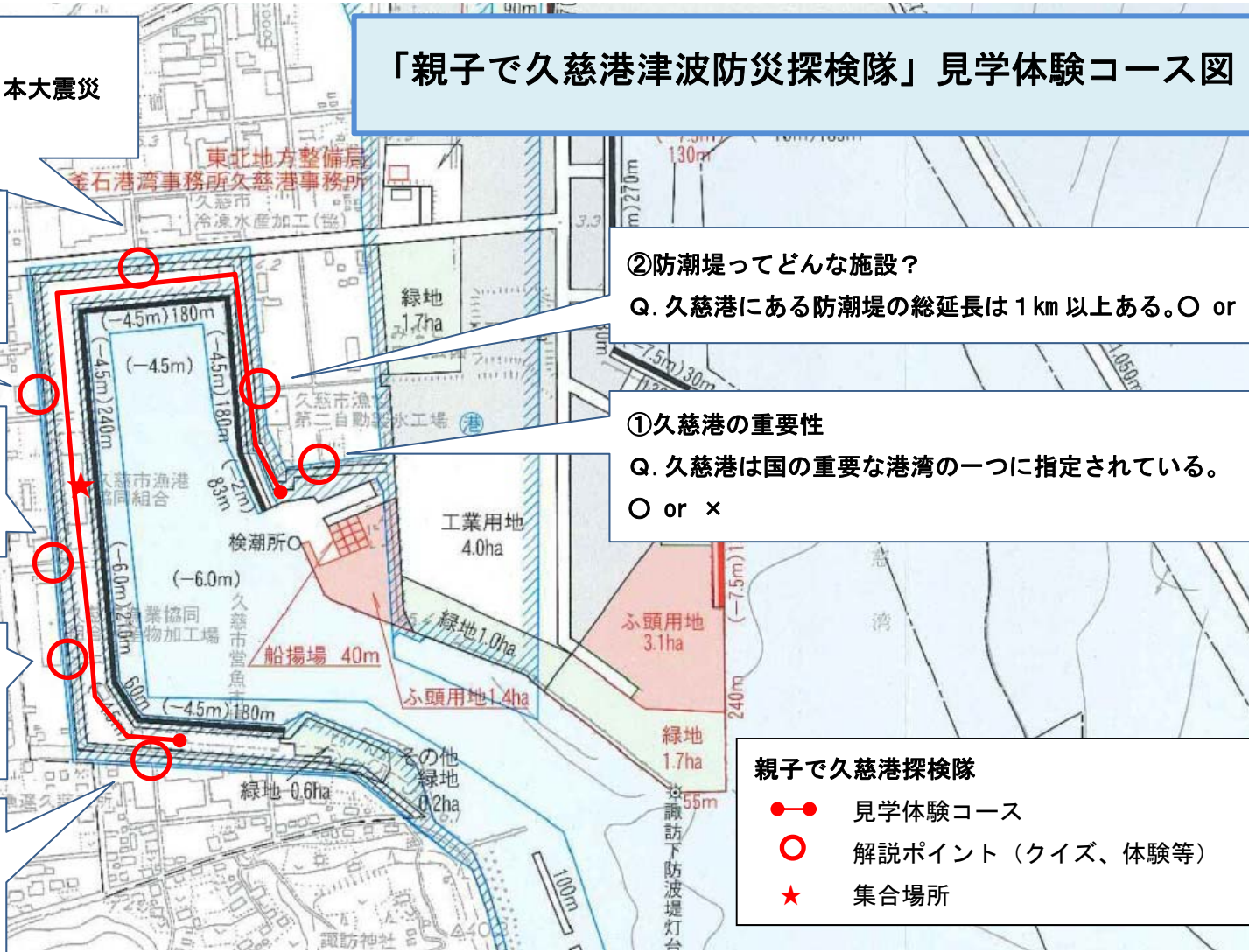
Q. 大きな揺れや津波警報が発表されても、閉まった陸閘（りくこう）の陸側にいれば安心である。○ or ×

②防潮堤ってどんな施設？

Q. 久慈港にある防潮堤の総延長は1 km 以上ある。○ or ×

①久慈港の重要性

Q. 久慈港は国の重要な港湾の一つに指定されている。
○ or ×



親子で久慈港探検隊

- 見学体験コース
- 解説ポイント（クイズ、体験等）
- ★ 集合場所

図1 「親子で久慈港津波防災探検隊」案内図（案）

平成26年6月

行事予定表

日 曜	行 事	時間	場 所		県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
7 土	琥珀まつり・千樹祭(～8日)		久慈市	久慈琥珀博物館		久慈琥珀博物館	59-3831
	平庭高原つつじまつり(～15日)	10:00～16:00	久慈市	久慈平庭県立自然公園		市産業建設課	72-2111
	パークゴルフ全国大会「りんどうカップ2014」(～8日)	13:00～	洋野町	大野パークゴルフ場	◎7日	大野パークゴルフ場	77-4389
8 日	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111
	第32回洋野町はまなすマラソン大会	9:45～	洋野町	種市海浜公園を 発着点とするコース		種市体育館	65-4290
	プロレスリング・ノア東日本大震災復興応援大会	14:00～	洋野町	種市体育館		種市体育館	65-4290
10 火	久慈川・夏井川築堤護岸改良工事安全祈願祭	11:00～	久慈市	長内町	◎○	土木部	53-4990
	岩手県漁業取締事務所久慈臨時事務所開所式	13:15～14:00	久慈市	久慈地区合同庁舎	◎○	水産部	53-4985
	第34回久慈地区乾しいたけ品評会	10:00～15:00	久慈市	久慈地区合同庁舎	◎○	林務部	53-4984
11 水	平成26年度久慈地区クリーンいわて行動の日	17:30～18:30	久慈市	市内	◎○	保健福祉環境部	53-4987
12 木	みちのく潮風トレイルワークショップ	18:00～20:00	野田村	村生涯学習センター		村産業振興課	78-2926
13 金	八木地区海岸防潮堤築造工事安全祈願祭	10:30～	洋野町	種市(旧八木地区防災センター跡地)	◎○	土木部	53-4990
	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111
15 日	【定例】二子朝市(5月～12月の第3日曜日)		久慈市	久慈市漁協二子出張所		久慈市漁協大尻支所	53-5280
	【定例】平庭市(6月～10月の第1・3日曜日)		久慈市	平庭高原地場産品直売所		市産業建設課	72-2111
	【定例】べっぴんまつり産直市(毎月第3日曜日)※要問合せ		久慈市	新山根温泉べっぴんの湯		新山根温泉べっぴんの湯	57-2222
	平庭闘牛大会つつじ場所	10:30～13:00	久慈市	平庭高原闘牛場		市産業建設課	72-2111
	第2回「北国の春」全国大会	12:00～	久慈市	平庭高原スキー場催事場		市産業建設課	72-2111
18 水	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111
20 金	2014フレッシュヤーズ・カフェin久慈琥珀		久慈市	ピストロくんのこ		経営企画部	53-4981
22 日	久慈市消防団特別点検	7:30～	久慈市	久慈中学校	◎	市消防防災課	52-2173
	第13回ウイングフェスタ	10:00～	久慈市	福祉の村		市社会福祉課	52-2119
23 月	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111
26 木	みちのく潮風トレイルワークショップ	18:00～20:00	野田村	村生涯学習センター		村産業振興課	78-2926
28 土	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111

7月上旬

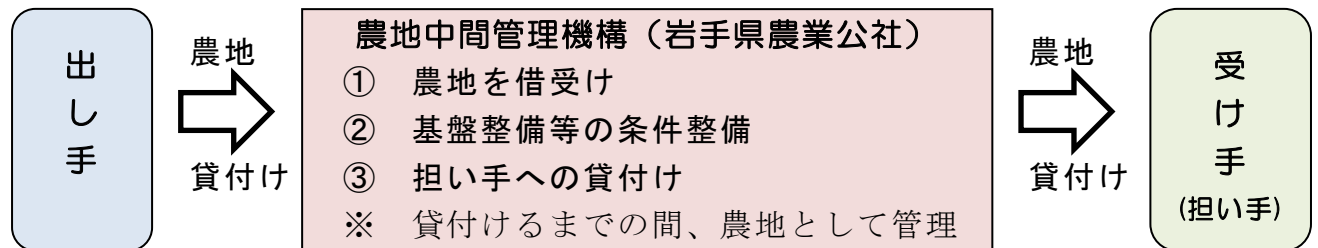
日 曜	行 事	時間	場 所		県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
3 木	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111
6 日	【定例】くるま市(4月～12月の第1日曜日)		久慈市	桂の水車広場		山根六郷研究会事務局(久慈ステーションホテル内)	53-5281
	【定例】平庭市(6月～10月の第1・3日曜日)		久慈市	平庭高原地場産品直売所		市産業建設課	72-2111
8 火	【定例】市日(毎月3と8のつく日)		久慈市	市日通り		市商工観光課	52-2111

◎局長出席 ☆技監(保健所長)出席 ○部・室長等出席

「新たな農業・農村政策」がスタートしました!!

農業者の高齢化や耕作放棄地の拡大などの様々な課題の解決に向け、農業を足腰の強い産業とし、農村の有する多面的機能を維持・発揮させるため、4月から「新たな農業・農村政策」が始まりました。その主な内容を紹介します。

1 農地中間管理機構による農地の貸し借りの新しい仕組み



農地中間管理機構（以下「機構」という。）への農地の貸付けや、機構が借り受けた農地を担い手へ貸付けることで、機構集積協力が条件に応じて交付されます。

- ・ 地域集積協力金…貸付面積の割合に応じ地域に交付。
- ・ 経営転換協力金…貸付面積の規模に応じ出し手に交付。
- ・ 耕作者集積協力金…機構の借受農地等に隣接する農地の貸付けで出し手に交付。

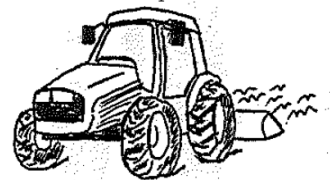
2 経営所得安定対策の見直し

(1) 畑作物の直接支払交付金、米・畑作物の収入減少影響緩和対策

- ・ これまでの一律の規模要件を外し、経営規模に関わらず、意欲ある農業者を支援します。

(2) 米の直接支払交付金

- ・ H26年産から単価が削減され、H30年産から廃止となります。



3 水田フル活用と米政策の見直し

(1) 水田活用の直接支払い交付金の見直し

- ・ 主食用米から、麦、大豆、飼料用米など、需要のある作物の生産を振興します。

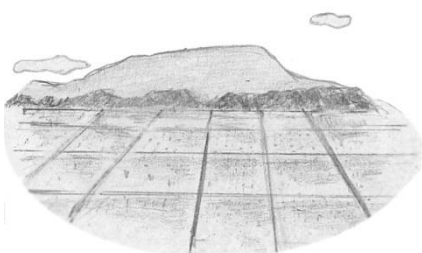
(2) 米政策の見直し

- ・ 5年後を目途に、生産者が自らの経営判断で作物を選択でき、需要に応じた主食用米の生産が行われるように取り組んでいきます。

4 日本型直接支払制度(多面的機能支払)の創設

農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮のため、多面的機能支払（農地維持支払・資源向上支払）が創設されました。（地域活動や営農の継続への支援）

- ・ 農地維持支払…農地法面の草刈りなど、多面的機能を支える共同活動を支援。
- ・ 資源向上支払…水路などの地域資源の質的向上を図る共同活動を支援。



制度の要件など、詳しくは県北広域振興局へお問い合わせください。

【久慈】 県北広域振興局農政部農政調整課

TEL 0194-53-4983 FAX 0194-53-3560

【二戸】 〃 二戸農林振興センター農政推進課

TEL 0195-23-9203 FAX 0195-23-9387

久慈地域の水産物や水産加工品の知名度向上やブランド化を目的に久慈地域の漁協、水産加工業者、行政等で結成した『久慈地域海の幸PR協議会』のホームページを全面リニューアルしました。

震災から3年が経過し、管内の漁業や水産加工業は本格的に再開しており、協議会では、これまで以上に久慈地域の水産物、水産加工品を地域内外にPRする予定です。

新しいホームページでは、イベントカレンダーや、ゆるキャラ「タベルンジャー」を登場させた「ゆるゆる動画」、「facebook ページ」の開設など、わかりやすく親しんでいただけるような内容としています。

今後も、現地の取材などにより旬の情報を集めながら、内容の充実を図っていくこととしていますので、久慈地域の水産物の「今」をぜひご覧ください。

□ 久慈地域海の幸PR協議会ホームページ
岩手県公式ホームページ内で『久慈地域海の幸PR協議会』と検索願います。



「ゆるゆる動画」では、タベルンジャー食卓応援レシピを紹介”

〔担当：水産部 ☎0194-53-4987〕

「二戸高等技術専門校学校公開」

二戸高等技術専門校では体験コーナーをメインとした学校公開を実施します。どなたでも自由に体験・見学ができますので、是非ご来場ください。

■日 時:平成 26 年 6 月 29 日(日)13:00~16:00

■会 場:二戸高等技術専門校(二戸市石切所字上野々92-1)

■内 容: 各科の魅力がわかる様々なコーナーを開設
 <<建築科>>県内で唯一、在校生が建てる模擬家屋の構造見学、参加高校生による模擬家屋建て方体験など

「自動車システム科」今話題のレーダーブレーキアシスト車同乗体験、交通安全用具体験など

■参加費:無料 ■その他:上履きをご持参ください。

■問合せ先:二戸高等技術専門校 ☎0195-23-2227



「平成 26 年度調理師試験の実施について」

調理師試験の受験を希望される方は、各保健所に受験申込書の用紙がありますので、保健所までお問い合わせください。

また、試験内容については、岩手県公式ホームページにも掲載しています。(同サイト内で「調理師試験」と検索願います。)

■申込期間:平成 26 年 6 月 30 日(月) ~ 7 月 11 日(金)(土日除く)

9:00~17:00(郵送は 7/11 消印有効)

■試験期日:平成 26 年 9 月 17 日(水) 10:00~12:00

■試験会場:久慈地区合同庁舎 6 階大会議室

■問合せ先:久慈保健所 ☎0194-53-4987



「復興支援道路」国道 281 号 久慈市案内地区トンネル工事見学のお知らせ

岩手県では、復興支援道路の整備として、国道 281 号の久慈溪流沿いに 1,150m のトンネルを建設工事中です。工事期間中ではありますが、希望者の方はトンネル内部の様子を見学することができます。工事中のトンネルを内部から見る機会がなかなかありませんので、是非見学にいらしてください。

■見学実施期間:平成 26 年 6 月から平成 27 年 12 月頃まで
 工事期間中は随時受け付けます。なお、作業工程等により、ご希望に沿えない場合がありますので予めご了承願います。

■場 所:国道 281 号(久慈市山形町沼袋地区の久慈地方森林組合林産加工センター付近)

■申込み・問合せ先:土木部道路整備課 ☎0194-53-4990

※詳しくは岩手県HPをご覧ください。

岩手県公式ホームページ内で『地域連携道路整備事業 案内工区』と検索願います。



“掘削工事中の案内地区トンネル工事”



2014年
6月・7月

発行:久慈地区被災者相談支援センター
久慈市八日町1-1 久慈地区合同庁舎 1F
フリーダイヤル 0120-934-755

岩手県被災家屋等太陽光発電導入費補助金について

県では、東日本大震災の被災者の方が、新たに太陽光発電システムを設置する場合に、経費の一部を補助します。

■補助の対象となる方

- 東日本大震災により、自ら居住していた家屋に半壊以上(※)の被害を受けた個人(同居する親族を含む)又は事務所等に被害を受けた法人(若しくは個人)。
※半壊、大規模半壊、全壊。なお、申請には、り災を証明する書類等が必要になります。
- 災害公営住宅(戸建)に居住する個人。

■補助の対象となる太陽光発電システム

- 被災者の方が修繕や新築等を行う建物に新たに設置したもの。
※災害公営住宅に居住する方は修繕や新築を行う必要はありません。
※平成24年4月1日以降に設置が完了したものが対象となります。
※対象設備の設置完了は電力供給の開始された日とします。
- 太陽電池の最大出力が10kW未満のもの。
- 申請者が自ら使用するもの。

■補助金額 (市町村の助成金との併用も可能です)

太陽電池の最大出力に、1kWあたり2万円を乗じて得た額。(千円未満切り捨て)

■申請期間 (申請額が予算額に達した場合、受付期間内であっても受付を終了いたします。)

平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

■お問い合わせ先 『岩手県環境生活部環境生活企画室 温暖化・エネルギー対策担当』

電話: 019-629-5326 FAX: 019-629-5334

受付時間: 9時～17時(12時～13時、土日、祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く)

岩手県のホームページ <http://www.pref.iwate.jp/> サイト内検索から **N2959** クリック



市町村の住宅用太陽光発電システムの設置費用の助成について

市町村では、再生可能エネルギーの導入を推進しております。今回は、「太陽光発電」について紹介します。被災をした方(り災証明のある方)は、岩手県被災家屋等太陽光発電導入費補助金との併用も可能です。

	対象者	助成額	申請期間	問い合わせ先
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> 自らが居住し又は居住しようとする市内の戸建住宅に太陽光発電を設置しようとする方 自らが居住する目的で、太陽光発電が設置された市内の建売住宅を購入する方 ※市税滞納者及び過去に本助成を受けた方は除く 	太陽電池の最大出力1kWあたり5万円(上限20万円)	平成27年2月27日(金)まで ※予算の範囲内での受付となります。	久慈市役所 産業開発課 【TEL】 0194(52)2369
洋野町	<ul style="list-style-type: none"> 町内に住所を有する、又は住所を有する見込みのある方 町税を滞納していない方 これまでに本助成を受けていない方 	太陽電池モジュールの最大出力1kWあたり5万円(上限15万円)	平成26年12月26日(金)まで ※予算の範囲内での受付となります。	洋野町役場 企画課企画政策係 【TEL】 0194(65)5912
野田村	<ul style="list-style-type: none"> 村内に住所を有する方、又は有する見込みで村内に自らが、居住する戸建の住宅に助成対象設備を設置する方 村税、その他村の債務に係る納付金を滞納していない方 	太陽電池出力1kWあたり8万円(上限24万円)	平成26年4月21日(月)～平成27年2月27日(金)まで ※予算の範囲内での受付となります。	野田村役場 特定課題対策課 【TEL】 0194(78)2963
普代村	<ul style="list-style-type: none"> 村内に住所を有する方 村税、その他村の債務に係る納付金を滞納していない方 	太陽電池最大出力に5万円を乗じて得た額(15万円限度)	平成27年2月27日(金)まで ※予算の範囲内での受付となります。	普代村役場 政策推進室 【TEL】 0194(35)2111

※詳しくは、各市町村担当課までお問合せください。

(裏面に続く)

専門家スケジュール

※専門家が不在の日でも、相談員が対応します。

※臨時相談窓口等の開設により、相談スケジュールが変更になる場合があります。

		月	火	水	木	金
6月	合同庁舎	弁護士	司法書士	—	—	ファイナンシャルプランナー
	出張相談	2日	3日	4日	5日	6日
	出張相談	—	—	弁護士 (普代村出張)	—	—
	合同庁舎	—	—	—	—	—
	出張相談	9日	10日	11日	12日	13日
	出張相談	—	—	専門家合同相談会 (野田村出張)	—	—
	合同庁舎	弁護士	—	—	—	ファイナンシャルプランナー
	出張相談	16日	17日	18日	19日	20日
	出張相談	弁護士 (洋野町出張)	司法書士 (野田村出張)	—	—	—
	合同庁舎	弁護士	司法書士	—	土地家屋調査士	—
	出張相談	23日	24日	25日	26日	27日
	出張相談	弁護士 (野田村出張)	—	—	—	ファイナンシャルプランナー (野田村出張)
合同庁舎	弁護士					
出張相談	30日					
出張相談	—					

		月	火	水	木	金
7月	合同庁舎		司法書士	—	—	ファイナンシャルプランナー
	出張相談		1日	2日	3日	4日
	出張相談	—	—	—	—	—
	合同庁舎	—	—	—	—	—
	出張相談	7日	8日	9日	10日	11日
	出張相談	—	—	専門家合同相談会 (野田村出張)	—	—
	合同庁舎	弁護士	—	—	—	ファイナンシャルプランナー
	出張相談	14日	15日	16日	17日	18日
	出張相談	弁護士 (洋野町出張)	司法書士 (野田村出張)	—	—	—
	合同庁舎	休み	司法書士	—	土地家屋調査士	—
	出張相談	21日	22日	23日	24日	25日
	出張相談	休み	弁護士 (野田村出張)	—	—	ファイナンシャルプランナー (野田村出張)
合同庁舎	弁護士	司法書士	—	—		
出張相談	28日	29日	30日	31日		
出張相談	—	—	—	—		

【出張相談会の詳細は下記の通り】

【野田村】

	日時	専門家名	場所	時間
6月	11日(水) 合同相談会	弁護士、司法書士、建築士 土地家屋調査士、行政書士 ファイナンシャルプランナー	野田村役場	14:00～19:00
	17日(火)	司法書士	野田村役場	10:00～15:00
	23日(月)	弁護士	野田村総合センター	13:30～15:30
	27日(金)	ファイナンシャルプランナー	野田村役場	10:00～15:00
7月	9日(水) 合同相談会	弁護士、司法書士、建築士 土地家屋調査士、行政書士 ファイナンシャルプランナー	野田村役場	14:00～19:00
	15日(火)	司法書士	野田村役場	10:00～15:00
	22日(火)	弁護士	野田村総合センター	13:30～15:30
	25日(金)	ファイナンシャルプランナー	野田村役場	10:00～15:00

【洋野町】

	日時	専門家名	場所	時間
6月	16日(月)	弁護士	洋野町民文化会館(セシリアホール)	13:30～15:30
7月	14日(月)			

【普代村】

	日時	専門家名	場所	時間
6月	4日(水)	弁護士	普代村役場	10:00～15:00

平庭高原

まつり

平成26年

6/7(土)▶15(日)

久慈平庭県立自然公園

メイン会場 6/7(土)・8(日) 森のこだま館 午前10時～午後4時
6/14(土) 平庭中継基地
6/15(日) レストハウス千春周辺

7・8日 10:00～ **体験コーナー**
森のこだま館

7・8日 10:00～ **森の宝さがし**
森のこだま館周辺

7・8日 10:00～ **くずまきクイズラリー**
森のこだま館など

14日 10:00～ **郷土芸能大会**
平庭中継基地

15日 10:00～ **俳句大会** (受付8:30～)
センターハウス平庭山荘

15日 11:45～ **メインセレモニー**
平庭高原スキー場 特設ステージ

もちまきもあるよ!!

つつじの苗木プレゼント!

屋台村・フリーマーケットでの買物500円分につき引換券1枚配布。券3枚(1,500円分の買物)で苗木1本プレゼント!
※苗木が無くなり次第終了とさせていただきます。

二子漁業生産部による海の幸販売!!

6/15(日) **同時開催**

平庭高原闘牛大会

つつじ場所 平庭高原闘牛場
開始時間 10:30～

「北国の春」全国大会

入場料 **無料**

平庭高原スキー場 特設ステージ

第1部 「北国の春」全国大会 正午
第2部 千昌夫コンサート 14:00



ジンギスカン 500円

森のこだま館 / 11:00～15:00

6/7(土)・8(日) イベント

①体験コーナー

- 日時/7日(土)・8日(日) 10:00~16:00
- 場所/森のこだま館
- 内容・料金/
 - せんべい焼き……………料金100円
 - 山ぶどうジャムづくり ……料金500円
 - 押し花体験……………料金100円~



②森の宝さがし

- 日時/7日(土)・8日(日) 10:00~16:00
- 場所/森のこだま館周辺
- 宝を探して特産品と交換!!
探したせるかな?
両日先着30名まで。1人(1グループ)1個まで。



③くずまきワインクイズラリー

- 日時/7日(土)・8日(日) 10:00~16:00
- 場所/森のこだま館など
- 各所にある答えを探して特産品をもらおう!!
両日先着30名まで。1人(1グループ)1個まで。

④ランチバイキング

- 日時/7日(土)・8日(日) 11:00~15:00
- 場所/森のこだま館
- 料金/大人1,200円、小学生800円
幼児500円、3歳以下無料

⑤ききワインコーナー

- 日時/7日(土)・8日(日) 10:00~16:00
- 場所/森のこだま館周辺
- 全問正解でワイン・ジュースプレゼント。

⑥屋台

- 日時/7日(土)・8日(日) 10:00~16:00
- 場所/森のこだま館 特産品等の販売。

⑦写真展

- 日時/7日(土)~15日(日) 10:00~16:00
- 場所/森の館ウッディ 写団やまどりの作品展示。

⑧ジンギスカン

- 日時/7日(土)・8日(日) 11:00~15:00
 - 場所/森のこだま館
- # 500円

⑨音楽館ミニコンサート

- 日時/8日(日) ①11:30~ ②13:30~
- 場所/森のこだま館

⑩森の案内人と歩く! 塩の道トレッキング

- 日時/7日(土)・8日(日) 11:30~

⑪工場案内

- 日時/7日(土)・8日(日) ①11:30 ②13:00 ③14:00

白樺荘焼肉ガーデン

- 日時/6月7日(土)・8日(日) 11:00~14:00
- 場所/白樺荘前 特設会場
- ※雨天時は中止のお食事会

ジンギスカン焼肉 大人1,000円 (野菜・ごはん付) 小学生800円

バス利用で 6月7日(土)・8日(日) ワインを楽しもう!!

ご利用希望日の2日前までにご予約ください | 要予約 ☎0195-66-3111

盛岡・八戸方面 無料送迎バス	9:00 盛岡駅西口バスターミナル発 9:30 八戸駅西口バスターミナル発 11:00 くずまきワイン着 14:00 くずまきワイン発
-------------------	--



6/14(土)・15(日) イベント

⑫メインセレモニー

- 日時/15日(日) 11:45~ もちまきもあるよ!!
- 場所/平庭高原スキー場 特設ステージ

⑬屋台・フリーマーケット

- 日時/14日(土) 平庭中継基地 15日(日) レストハウス千春周辺 10:00~16:00
- 出店料/1,000円



⑭郷土芸能大会

- 日時/14日(土) 10:00~
- 場所/平庭中継基地



⑮俳句大会

- 日時/15日(土) 10:00~(受付は8:30)
- 場所/センターハウス平庭山荘

つっじの苗木プレゼント!

屋台村・フリーマーケットで500円買物された方に引換券1枚配布、券3枚で苗木1本と交換。
※苗木が無くなり次第終了とさせていただきます。

平庭山荘 特製お弁当

6月15日(日)

1,000円

- 場所/平庭山荘、レストハウス千春、白樺荘にて販売

二子漁業生産部による 海の幸販売!!

6月15日(日)



闘牛

平庭闘牛大会

東北
唯一

つつじ場所
2014
6/15日
10:30~

しらかば場所
2014
8/24日
11:00~

めんこいテレビ杯
もみじ場所
2014
10/26日
11:00~

平庭闘牛場(久慈市山形町)

前売券 800円 / 当日券 1000円 / 小学生以下無料
※お電話での予約も可能です

同時開催

- 6/14(土)~15(日) 平庭高原つつじまつり
 - 6/15(日) 北国の春全国大会 12:00~
 - 10/24(金)~26(日) 全国ほんもの体験フォーラムinいわて
- イベント詳しいお問合せ先 ☎0194-72-2111

主催 / いわて平庭高原闘牛会
【お問合せ先】事務局(山形総合支所)
☎0194-72-2111

届け被災地へ北国からのメッセージ
春の平庭で日本一の唄の競演

第2回 「北国の春」全国大会

平成26年 予選 6月14日・本選 6月15日
第一部 12:00～「北国の春」全国大会
第二部 14:00～千昌夫コンサート

岩手県久慈市

平庭高原スキート場 特設ステージ

入場料無料

出場者
募集

申込期間:平成26年4月15日[※]～5月15日(消印有効)
参加料:2,000円 予選会出場者:150組(先着順)

予選 6月14日 9:00から、平庭山荘で150組による予選を行います。

本選 6月15日12:00から、「北国の春全国大会」予選をクリアした30組で大会に挑みます。

表彰 1位 トロフィー 賞金50,000円 2位 賞金20,000円 3位 賞金10,000円

「北国の春」を歌える人ならどなたでもOK!!
(個人・団体問いません)

特選はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、自己紹介を記載の上、
平成26年5月15日(消印有効)までに申し込みにください。
※本賞金は参加できるのに先着150組です、抽選にてお知らせいたします。

申し込み先

T028-8802

岩手県久慈市山形町川井町15-6 プレステック社内
特定非営利活動法人やまがた地域振興協議会 事務局

問い合わせ先

TEL:0194-72-2771 FAX:0194-72-2091

担当 岩井・橋本

宿泊のお問い合わせは

平庭山荘 TEL:0194-72-2700まで



第32回洋野町 はまなすマラソン大会

2014. 6. 8 (日) 午前9時45分スタート



いい汗かこう
南部もぐりと
ウニの里で!

申込方法

種目 3km、5.3km、10km

参加資格 マラソン、ジョギング等を愛好する健康な方

申込期限 平成26年5月2日(金曜日)

参加料 高校生以下 1,000円 一般2,500円

申込・お問い合わせ先

- 洋野町種市体育館 TEL 0194-65-4290
- 洋野町教育委員会大野事務所 TEL 0194-77-2115
- 洋野町ホームページ: <http://www.town.hirono.iwate.jp/>

フレスラーが来場!?



同日、種市体育館において、フレスリング・ノアの大会が開催されるため、選手が会場に駆けつけてくれます。

開場13:00 試合開始14:00

※はまなすマラソン参加者には入場料の割引があります。



主催: 洋野町陸上競技協会 後援: 洋野町教育委員会 特別協賛: (株)フレスリング・ノア